



湧別地区

中高一貫  
教育

令和六年度

研

究

集

録

湧別町立上湧別中学校  
湧別町立ゆうべつ学園  
湧別町立芭露学園  
北海道湧別高等学校

湧別地区

中高一貫教育推進委員会

# 目 次

- 1 巻頭言
- 2 理念/規約/地域と4校の概要/ R6年度方針
- 3 組織一覧
- 4 推進事務局活動記録
- 5 成果と課題/次年度計画
- 6 各実践部会活動記録
- 7 中高一貫だより
- 8 つなぎ学習

## 実践部会

### 教育課程・学習指導部会

#### 各教科

国語  
社会（地歴・公民）  
数学  
理科  
英語  
保健体育  
音楽  
養護  
特別支援

### 特別活動・生徒指導部会

#### 総探究部会

総探中学校 1 学年  
総探中学校 2 学年  
総探中学校 3 学年  
高等学校 1 学年

# 1 卷頭言

中高一貫教育の充実を願って

湧別地区中高一貫教育推進委員会委員長

(湧別町教育委員会教育長)

阿 部 勉

本町の中高一貫教育は、生徒たちが、中学校・義務教育学校と高等学校の6年間を一貫した教育課程のもとで学ぶことにより、中等教育の一層の多様化を推進し、生徒一人ひとりの個性をより重視した教育の実現を目指すものであります。

中高一貫教育の理念であります「地域の子どもは地域で育てる」のもとに、中学校と義務教育学校そして北海道湧別高等学校、さらには地域が一体となって、未来を拓く生徒一人ひとりの個性を伸ばし、可能性を広げ、オホーツクを担う人材を育成するために、各学校の先生方にはご尽力いただいておりますことに心より感謝しています。

湧別町の中高一貫教育については、ここ数年、見直しについて協議を重ね、各学校の皆様方にも検討をいただきながら、今年度より連携の柱を「主体的・対話的な教科学習」、「地域と連携した探究的活動」と変更し、活動をしてまいりました。中学校や義務教育学校と高校がどのようにつながるのか、一貫した教育を進めるためにはどのような方法が良いのか、生徒たちにとって何が一番効果的な取り組みになるか、などを考えて活動していただいたことと思います。

本年4月からは町内全ての学校が義務教育学校となります。湧別町は、小中一貫教育を進めておりますが、ここに高校が加わり12年間を継続して子どもたちを育てていくことが本町の教育にとって、とても重要なことだと考えております。

湧別町の中高一貫教育は信念をもって継続してきている事業であり、3つの義務教育学校と高校がお互いに協力して教育活動を推進していかなければならないと考えます。

今後におきましても、私たちをとりまく現状の課題を的確に見据え、地域と密着し活気に満ちた教育を目指し、地域の方々のご理解とご協力を得ながら「湧別町の子どもたち」を心豊かに育てるため、本町の連携型中高一貫教育の取り組みの充実とより一層の発展を願うものであります。

湧別町教育委員会はこれからも中高一貫教育の発展に全力を傾注してまいりますので、今後とも各学校の教職員、保護者、そして地域の皆さまの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます、研究集録発刊にあたってのご挨拶といたします。

## 2 理念/規約/地域と4校の概要/ R6年度方針

## 理念・テーマ・柱（特色）・連携の概要

### 理念

地域の子どもは地域で育てる

～未来を拓く生徒一人ひとりの個性を伸ばし可能性を広げ、  
オホーツクを担う人材を育成する～

### テーマ

地域と密着・活気に満ちた教育

### 連携の柱

①「主体的・対話的な教科学習」

②「地域と連携した探究的活動」

①主体的・対話的な教科学習	②地域と連携した探究的活動
<p>【説明】 中高6年間を主体的・対話的な授業形態に統一し、相互連携することでより深い学びを実現する。これにより自分の考えを持ち相手に伝えるコミュニケーション能力、思考力、判断力を育み、大学入試の総合型選抜に対応できる優れた能力を身に付け、未来を拓く生きる力を身に付ける。</p> <p style="text-align: center;">◎湧別高校（主体的・対話的な学習） ↓ ↑ ◎義務教育学校・中学校 （学びの共同体・学びの山等）</p>	<p>【説明】 湧別町を舞台とした探究的活動を中高連携して行う。 6年間の中で、湧別町の歴史・産業・自然・ポテンシャルを理解するとともに、地域と連携することで地域参画力や問題解決能力を身に付ける。</p> <p style="text-align: center;">◎湧別高校（未来計画） ↓ ↑ ◎義務教育学校・中学校（ゆうべつ学等）</p>

### 実践部会と事業

実践部会	事業
教育課程・学習指導部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎教科部会での主体的・対話的な学習を実現するための授業研究会、公開授業、先進地視察等</li> <li>◎シラバスの作成</li> <li>◎総合型選抜入試に対応した教育活動</li> <li>◎英検取得の推進奨励、各種資格取得奨励</li> </ul>
特別活動・生徒指導部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎部活動の相互交流、合同練習、技術向上事業</li> <li>◎生徒会リーダー研修会など中高生交流事業</li> <li>◎湧別町出身者による講演会</li> <li>◎キャリア教育の連携事業</li> </ul>
総探部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎探究的活動について教員の情報交換と実践研究</li> <li>◎探究的活動の中高生の連携推進</li> <li>◎探究的活動の地域連携推進</li> <li>◎3校合同事業の実施</li> </ul>

# 湧別地区中高一貫教育推進委員会規約

(名称)

第 1 条 この会は湧別地区中高一貫教育推進委員会（以下「推進委員会」という。）と称する。

(組織)

第 2 条 推進委員会は、湧別町教育委員会、北海道湧別高等学校、上湧別中学校、ゆうべつ学園、芭露学園をもって組織する。

(目的)

第 3 条 推進委員会は、中高一貫教育の推進事業に関わる連携を緊密にするとともに、本地区の中高一貫教育の円滑な運営を図ることを目的とする。

(事業)

第 4 条 推進委員会は、次の事業を遂行する。

1. 教育活動の推進・協力
2. 中高一貫教育の啓蒙活動
3. 会員の研修
4. その他必要と認めた事項

(会計)

第 5 条 推進委員会の活動に要する費用は、町からの収入等をもって充てる。

第 6 条 推進委員会の会計年度は、4月1日より翌年3月31日までとする。

(役員)

第 7 条 推進委員会に次の役員をおく。

1. 委員長 1名（教育長）
2. 副委員長 1名（中学校・義務教育学校長）
3. 監事 1名（教育委員会）
4. 委員 4名（各校校長・教育委員会）

第 8 条 役員は総会で選出し、任期を1年とする。ただし、再任は妨げない。

第 9 条 委員長は、推進委員会を代表し会務を管理する。副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故ある時は、その職務を代理する。監事は、会計事務を監査する。

(協議会)

第 10 条 推進委員会に協議会を設け、委員長・副委員長・委員で構成し、委員長が必要と認めるとき招集する。

第 11 条 協議会は、総会の議決に基づき、委員長の指示を受け、次期総会までの間、委員長が特に必要と認めた事項について協議決定することができる。

(事務局)

第 12 条 推進委員会の活動を推進していくために事務局を湧別高等学校に設置し、次の局員をおく。

1. 事務局長 1名（高校教頭）
2. 事務局次長 4名（各中学校・義務教育学校教頭3名・教育委員会1名）
3. 事務局会計 1名（高校事務長）
4. 事務局員 4名（高校教諭1名・各中学校・義務教育学校3名）

第 13 条 事務局長は、定期的に事務局会議を開催する。また、必要に応じて、実践部会の各部会議を開催させることができる。

(実践部会)

第 14 条 推進委員会の円滑な活動を図るために次の実践部会を設け、事務局次長が部長を務める。

教育課程・学習指導

特別活動・生徒指導

総探

なお、各教科（養護・特別支援を含む）は教育課程・学習指導部会の下部組織とし、代表者を教科毎に選出する。

第 15 条 教育課程・学習指導部会長は必要に応じて、教科代表者会議を開催することができる。

(入学者選抜連絡調整会議)

第 16 条 この会議は、連携型入学者選抜を円滑に行うために開催することができる。

第 17 条 この会議は、担当責任者が必要と認めた時に開催する。

(諮問機関)

第 18 条 協議会の諮問機関として推進支援会を置き、中高一貫教育に関して、意見を求めることができる。

第 19 条 推進支援会は、各学校の P T A 会長及び地域の支援者で構成し、委員長が委嘱する。

(総会)

第 20 条 総会は、定期総会を年に 1 回 4 月に開催する。臨時総会については、委員長が必要と認めた時に開催する。

第 21 条 総会に付議する事項は、次の通りとする。

1. 事業報告・決算に関すること

2. 事業計画・予算に関すること

3. 役員改選に関すること

4. 規約の改廃に関すること

5. その他、委員長が必要と認めた事項に関すること

第 22 条 総会の議事運営（議長・議事録）に関しては、事務局が担当する。

(委任)

第 23 条 推進委員長は、本会の会計事務を湧別高等学校長に委任する。

附則

この規約は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

この規約は、平成 17 年 6 月 7 日一部改正。

この規約は、平成 20 年 4 月 16 日一部改正。

この規約は、平成 22 年 4 月 15 日一部改正。

この規約は、平成 23 年 4 月 13 日一部改正。

この規約は、平成 24 年 4 月 12 日一部改正。

この規約は、平成 25 年 4 月 16 日一部改正。

この規約は、平成 30 年 4 月 19 日一部改正。

この規約は、令和 5 年 4 月 20 日一部改正。

この規約は、令和 6 年 4 月 24 日一部改正。

# 令和6年度 湧別地区中高一貫教育活動方針

## 1 実践部会

### (1) 教育課程・学習指導部会

- ア 各学年において全教科学年分のシラバスを作成し、有効活用を図る。
- イ 各教科部会において、部会の定期開催及び授業交流・相互乗り入れ授業を積極的に行う。
- ウ 授業交流において、各校の基礎基本の充実を図る取組を行う。
- エ つなぎ学習における乗り入れ授業が充実する取組を行う。
- オ 『中高一貫だより』は適宜集約及び発行を行う。

### (2) 特活・生徒指導部会

- ア 「あいさつ」を共通指導事項として継続する。
- イ リーダー研修会において、各学校の取組を交流することや、テーマに沿った議論を深めていくなどして、各校の生徒会活動の活性化を目指す。
- ウ 運動部に係るクリニックは、希望する部を優先させ、希望が重なった場合はローテーションを考慮して調整し、実施を決定する。  
吹奏楽クリニックについては、各学校の吹奏楽顧問の協力を得ながら、各楽器や合奏などの技術向上を目指したクリニックを実施する。
- エ ボランティア活動については、各校の取組を充実させる。
- オ 合同講演会は、湧別や北海道にゆかりのある講師を中心に選定する。

### (3) 総探部会

- ア S T C部会で実施していた中1～3（義務教育学校においては7～9）までの3校合同の事業を継続して実施する。
- イ 探究的活動の交流を検討する。
- ウ 各校の探究的な活動において地域性、子どもの発達の段階や興味関心、学びの深まりに応じて各校ごとの「課題の設定」を総合的に考え判断していく。
- エ 前身のS T C部会で扱った職業体験、講演会、プレゼンテーション交流についての継続可否を審議し、運営するに至った場合の具体的方策を検討する。
- オ 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする取り組みを計画する。
- カ 自分の暮らしや地域の問題を見つめ、思いや願いを膨らませ、自己選択や自己決定を繰り返して深く考え、多様な他者と協働して課題を解決する能力の育成を図る。
- キ 各校における具体的な取り組みの交流を活性化させ、湧別町が目指す探究的な学習のロードマップを作成する。

## 2 事務局担当事項

- (1) 推進委員会全体で、中高一貫教育の良さを再確認し、活動の改善や発展を目標とした検証を行う。
- (2) これまで取り組んできた活動内容や実情を振り返り、理念やテーマ、活動の柱（特色）の再確認ならびに再検討を行う。
- (3) 各実践部会が活動の見直しを円滑に行えるよう、計画的に見直しを計れるよう工夫する。
- (4) 中高一貫教育の取組について地域・保護者のより一層の理解促進を図る。

## 3 その他

- (1) 連携型入選の円滑な実施に向け、必要に応じて入選連絡調整会議を開催する。
- (2) 資格取得に向け、生徒の意欲的な取り組みがなされるよう働きかけを推進する。
- (3) 研究集録作成に向け、事務局を中心に各部会や各教科における記録集約等を行う。なお、研究集録は冊子による発行を行わず、PDFによりHPで公開する。

# 地域と4校の概要

## 1 地域の特徴

湧別町は平成21年10月5日、旧上湧別町と旧湧別町が合併し新しく誕生した人口約8,000人の町である。北海道東部網走支庁紋別郡に位置し、オホーツク海とサロマ湖に面しており畑作や酪農、漁業を基幹産業としている。湧別川がその源を天狗岳に発し、流路延長87kmに及び、町を貫流している。その下流域に広がる肥沃な恵みある大地では畑作が、山間や河口域では乳牛飼育による酪農が盛んである。

また、道内最大のサロマ湖ではホタテやカキが輪採制という独特の方法で養殖されており、「作り育てる漁業」を基本方針として全国的に高い評価を得ている。

気候はオホーツク海型気象地帯としての特徴をもち、気温は道内平均よりやや低く、日照時間が長く、雨が少ないことがあげられる。そのため、冬期間における降雪が大切な水源となっている。また、オホーツク沿岸に位置するため、町の東西に連なる丘陵地の影響を受け、朝夕の地上の風向がはっきり変わることがあげられる（海陸風）。その他、流氷が接岸（1月下旬から3月上旬）すると寒さも増し、一日の寒暖差が大きくなる。

春には街中にチューリップが彩り、毎年5月から6月にかけて行われるチューリップフェアには全国から10万人以上の観光客が訪れる。さらに、町では「人づくり」事業の一環で海外研修を展開しており、カナダ・ホワイトコート町、ニュージーランド・セルウィン町と友好都市締結をして留学生の交流を推進している。スポーツイベントも盛んで、6月にはサロマ湖を一周するサロマ湖100kmウルトラマラソン、2月には湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会が開催されている。

## 2 各学校の概要

### 【湧別町立上湧別中学校】

- (1) 学校名・校長名 湧別町立上湧別中学校 校長 綾部 雅一
- (2) 所在地・電話番号 北海道紋別郡湧別町上湧別屯田市街地1番地の1  
電話 (01586) 2-2095
- (3) 学級数・生徒数・教員数(令和6年4月現在)

学 年	1	2	3	特別支援	合 計	
学級数	1	1	1	3	5	
生 徒 数	男	8	9	13	2	32
	女	14	10	9	3	36
	計	22	19	22	5	68
教職員数	17					

昭和41年9月、旧中隊本部・練兵場跡地に「統合上湧別中学校」として誕生した。

平成16年、「与えられる空間から求める空間へ」というコンセプトのもと、オホーツク管内初の「教科教室型」の新校舎が完成した。国語教室・数学教室・社会教室・理科教室・英語教室はオープンスペースという特徴を持ち、理数・国社・英語の各メディアセンター、音楽室・美術室・技術室・家庭科室という芸能教科教室は廊下からも活動の様子を見ることができるようになっている。また、各種講演会等を開催することが可能な地域交流ホール（通称ランチルーム）は、地域にも開放されている。

生徒は、ふるさと館JRYでの衣食住体験・漁業体験・寿学級との交流、チューリップ公園の球根植え等、湧別町の特性を活かし地域に根差した教育活動を展開している。各種ボランティア活動や湧別町子ども会リーダー研修に多くの生徒が参加するなど、町内への行事に積極的に参加している。また、部活動が盛んで、生徒の意欲も一際高く、中体連、各種大会や競技会、コンクールなどで活躍している。保護者は学校行事や教育活動に協力的で、PTA活動や部活動保護者会など積極的なサポート体制がとられている。

新校舎になって19年が経過したが、教科教室型校舎の特徴を活かした教育をさらに推進しており、「学びの共同体」と呼ばれる教育方法学を導入し全校体制で取り組んでいる。

令和7年度よりいよいよ上湧別地区は義務教育学校として統合する。その準備が各方面で進んでいるところでおり、学校名は「上湧別学園」である。

### 【湧別町立ゆうべつ学園】

- (1) 学校名・校長名 湧別町立ゆうべつ学園 校長 若松 征一  
 (2) 所在地・電話番号 北海道紋別郡湧別町錦町223番地  
 電話(01586)5-2410  
 (3) 学級数・生徒数・教員数(後期課程のみ 令和6年2月現在)

学 年	7	8	9	特別支援	合 計	
学級数	1	1	1	1	4	
生 徒 数	男	10	5	13	0	28
	女	5	10	12	1	28
	計	15	15	25	1	56
教職員数	32					

本校は、令和5年4月に開校し、現在は4学級、生徒数56名である。保護者の職業は漁業や農業の関係者で約半数を占めており、7割以上が共働きである。保護者の教育に対する関心は高く、学校に対する期待度も大きい。

本校では、学校教育目標「未来に向かい、心豊かにたくましく自立する生徒」の育成を目指している。今年度は、重点を「仲間と共に学びを創る子ども」が育つ学園の創造とし、「学びの活性化に向けた教育活動の充実」を図った。学習面では、グループを中心とする学び合いを推進することや、放課後の時間を利用した学習活動に取り組んでいる。また、特別活動では、生徒の自発的な活動を促す行事への工夫、地域の行事、様々なボランティア活動、ニュージーランドとの交換留学などを推進している。

学園誕生とともに9年間を見通した活動に取り組み、全職員が15歳の目指す生徒像を共有し、教育活動に取り組んでいる。

生徒は、幼少期から同じ集団で生活してきているため、互いをよく理解し、思いやる心も育っている。明るく元気で挨拶もよくでき、素直で伸び伸びしており、学校行事や部活動に積極的に参加している。保護者や地域も大変協力的である。「地域と共にある学校」として子供を育む取組を推進し、取り組んでいる。

### 【湧別町立芭露学園】

- (1) 学校名・校長名 湧別町立芭露学園 校長 川上 智広  
 (2) 所在地・電話番号 北海道紋別郡湧別町芭露411番地  
 電話(01586)6-2463  
 (3) 学級数・生徒数・教員数(後期課程のみ 令和7年2月現在)

学 年	7	8	9	特別支援	合 計	
学級数	1	1	1	0	3	
生 徒 数	男	1	3	2	0	6
	女	1	0	1	0	2
	計	2	3	3	0	8
教職員数	6					

本校は、昭和38年4月に創設され、その後、昭和44年までに芭露、上芭露、東芭露、西芭露、志撫子、計呂地の6地区が全て統合された湖陵中学校と校区にあった芭露小学校とが統合し、平成30年4月に北海道で4番目となる義務教育学校「芭露学園」

として開校した。

校区は酪農を中心とする農業とホタテ・カキ養殖を中心とした漁業を営み、三世代が同居する家庭が多く、住民同士の人間関係が緊密である。また、保護者や地域住民の学校に対する関心が高く、教育活動に対して協力的である。

本校では、平成30年度より義務教育学校としてスタートしたことから、9年間の一貫教育の教科指導や生活指導、学校行事を通して、教職員がそれぞれの役割と責任を果たし、前期課程・後期課程の良さを生かしつつ、「15歳の春」を見据え、9年間をしっかりとつないでいくことを目標としている。

また、本校では義務教育学校の特徴を生かし、前期課程児童と優しく係わる中で身に付く「人間性」、1年生から9年生までが同時に楽しんで取り組める行事の企画や運営などから生まれる「創造性」、義務教育学校として他校にはない取組から生まれる自分自身や学校への「誇り」と様々な面で大きな成長をしている。

義務教育学校（小中一貫教育）で、さらに中高一貫教育を行っている学校を有する町は北海道の中で湧別町が唯一である。今後も義務教育の9年間だけではなく、高校まで含めた12年間を見通した教育について検討していきたい。

### 【北海道湧別高等学校】

- (1) 学校名・校長名 北海道湧別高等学校 校長 今野博友
- (2) 所在地・電話番号 北海道紋別郡湧別町中湧別南町846番地2  
電話(01586)2-2419
- (3) 学級数・生徒数・教員数(令和7年2月現在)

学年	1	2	3	合計	
学級数	1	1	1	3	
生徒数	男	16	16	19	51
	女	12	18	11	41
	計	28	34	30	92
教職員数	14				

昭和28年4月、「地域の子どもの教育は地域の学校で」との強い願いから、当時の上湧別村と下湧別村による組合立の学校として全日制課程普通科3学級の学校として発足、令和5年11月には創立70周年を迎えた。このような開校の経緯から、地域住民には「我が町の高校」との意識が強く、本校の教育活動に対して極めて協力的である。また、本校への入学生の約9割が町内1中学校・2義務教育学校からの生徒であり、保護者同士の人間関係が非常に緊密である。

本校では生徒個々に即した学習体制を編成しており、習熟度別学習や多様な選択科目の設置による少人数教育を行っている。また進路指導においては、自己理解の深化、面接指導、長期休業中の進学講習、資格取得のための特別指導体制も組んでいる。また、総合的な探究の時間においては自らの興味、関心に従い課題を見つけ、課題解決のための力、試行錯誤する過程でPBL（問題解決型学習）を体験し課題を解決する力、自身の課題を地域と結び付け、地域への繋がりを強めることを目的とした「未来計画」を実施している（個人の課題を中心として考え、個々の興味関心に基づいた活動）。

生徒は、地域柄を反映して明るく純朴であり、活動意欲が旺盛で教師との信頼関係も強い。部活動にも8割以上の生徒が加入しており、意欲的に活動しているほか、ボランティア活動にも熱心であり、災害復興のための募金活動やスリランカに井戸を贈る募金活動、サロマ湖100キロマラソンやクロスカントリースキー大会などの町内のイベントの運営補助など、進んで活動に取り組んでいる。

令和5年度より、全国募集を開始し、地域コーディネーターの配置、公設塾の開設（令和7年10月予定）、学生寮の設置（令和8年4月予定）等、湧別町からの支援と協力のもと、高校の魅力化に取り組んでいる。

### 3 組織一覽

湧別地区中高一貫教育推進委員会組織図

協 議 会	
委 員 長	湧別町教育委員会教育長
副委員長	湧別町立上湧別中学校長
委 員	北海道湧別高等学校長
委 員	湧別町立芭露学園校長
委 員	湧別町立ゆうべつ学園校長
委 員	湧別町教育委員会

推進支援会
各校 PTA会長等

湧別地区中高一貫校
北海道湧別高等学校 湧別町立ゆうべつ学園後期課程 湧別町立上湧別中学校 湧別町立芭露学園後期課程

監 事
湧別町教育委員会

事 務 局	
事務局長	北海道湧別高等学校教頭
事務局次長	湧別町教育委員会
事務局次長	湧別町立ゆうべつ学園教頭
事務局次長	湧別町立上湧別中学校教頭
事務局次長	湧別町立芭露学園後期課程教頭
会 計	北海道湧別高等学校事務長
事務局員	北海道湧別高等学校教諭 1名
事務局員	湧別町立ゆうべつ学園教諭 1名
事務局員	湧別町立上湧別中学校教諭 1名
事務局員	湧別町立芭露学園後期課程教諭 1名

入学者選抜連絡調整会議（連携型）
◎北海道湧別高等学校教頭 北海道湧別高等学校入選担当 1名 湧別町立ゆうべつ学園教諭 1名 湧別町立上湧別中学校教諭 1名 湧別町立芭露学園後期課程教諭 1名
◎は責任者

実 践 部 会		
教育課程・学習指導	特別活動・生徒指導	総探
各教科 国語 社会 数学 理科 英語 音楽 保健体育 養護 特別支援		中学校 1学年 中学校 2学年 中学校 3学年 高等学校

### 令和6年度 中高一貫教育推進委員会

		教育委員会	上湧別中学校	ゆうべつ学園	芭露学園	湧別高等学校	
推進協議会		◎阿部 勉 佐藤 美貴 澁谷 順	○綾部 雅一	若松 征一	川上 智広	今野 博友	
推進事務局		佐藤 美貴 原 浩司 可児 幹博	伊藤 俊哉 岩佐 咲子	豊原 隆之 神山 利彦	瀬川 英樹 阿部 努	◎渡部 倫也 合田知絵美 会計 陶山 仁 (事務長)	
会	教育課程・ 学習指導部会		花田 和也	◎豊原 隆之	三上真希子	合田知絵美 鎌田 瑠奈	
	各 教 科	国 語		花田 和也	斎藤 帆貴	◎三河 修一	對馬 李玖
		社 会 (地歴公民)		◎豊田 修司	前田 剛志	藤井 陽平	佐藤 和憲
		数 学		南部 寛 岩佐 咲子	◎岩崎 洋渡	三上真希子	小澤 力 南 龍童
		理 科		松尾 広樹	植木 聖子 高橋 由耶	◎阿部 努	加藤 光城
		英 語		柳川 智紀 黒川美環子 本田 学	神山 利彦	佐藤 優好	◎澤 龍一 合田知絵美
		保健体育		◎山本 悠司	森本あやめ		小堀 大輔
		音 楽		◎樋口 琴音	堀澤さゆり		岩本 莉奈
		養 護		二峰明日香	野澤亜希子	◎森 こずえ	寺西 貴子
		特別支援		浜田 尚明 奈良 朋美 吉田 未規	◎若生佐智子	佐藤 優成	寺西 貴子 小澤 力
		その他		阿部 翔太			鎌田 瑠奈 古賀 悠祐
	特別活動・ 生徒指導部会			柳川 智紀 樋口 琴音	斎藤 帆貴 堀澤さゆり	◎瀬川 英樹 佐藤 優好 三河 修一	小堀 大輔 對馬 李玖
	総 探 部 会	全 体		◎伊藤 俊哉	高橋 由耶	三河 修一	加藤 光城
		1 学 年		豊田 修司	神山 利彦	阿部 努	
2 学 年			柳川 智紀	高橋 由耶	佐藤 優成		
3 学 年			岩佐 咲子	若生佐智子	三河 修一		
入学者連絡調整委員会			岩佐 咲子	植木 聖子	三河 修一	◎渡部 倫也 合田知絵美	

推進委員会の◎は委員長、○は副委員長 推進事務局の◎は事務局長  
分掌部会、教科部会、総探部会の◎は部長

## 4 推進事務局活動記録

令和6年度活動記録一覧

月日	取組	担当部(教科)	会場等
R6.4.3	第1回事務局事前会議	事務局	湧別高校
R6.4.11	第1回事務局会議	事務局	湧別高校
R6.4.17	第1回推進協議会	事務局	文化センターさざ波
R6.4.24	中高一貫教育推進委員会総会	事務局	文化センターTOM
R6.5.17	第2回事務局事前会議	事務局	湧別高校
R6.5.23	授業参観(数学・英語・社会)	数学・英語・社会	上湧別中学校
R6.5.25	部活動クリニック(吹奏楽・クラリネット)	特別活動・生徒指導部会	湧別高校
R6.5.28	第2回事務局会議	事務局	湧別高校
R6.6.1	第1回実用英語技能検定(中学生)	英語	湧別高校
R6.6.5	未来計画(探究サポーター)	湧別高校	湧別高校
R6.6.7	未来計画(探究サポーター)	湧別高校	湧別高校
R6.6.8	総探3年部会打合せ	総探部会	上湧別中学校
R6.6.11	公開授業(英語部会)	英語	上湧別中学校
R6.6.14	未来計画(探究サポーター)	湧別高校	湧別高校
R6.6.16	部活動クリニック(吹奏楽・ホルン)	特別活動・生徒指導部会	湧別高校
R6.6.21	未来計画(探究サポーター)	湧別高校	湧別高校
R6.6.22	第1回実用数学技能検定(中学生)	数学	湧別高校
R6.6.25	特別支援部会	特別支援部会	ゆうべつ学園
R6.6.25	第3回事務局事前会議	事務局	湧別高校
R6.6.29	第1回日本漢字能力検定(中学生)	国語	湧別高校
R6.7.4	総探3年部会打合せ	総探部会	上湧別中学校
R6.7.9	第3回事務局会議	事務局	湧別高校
R6.7.12	中高一貫教育合同講演会	特別活動・生徒指導部会	文化センターTOM
R6.7.12	未来計画中間報告会	湧別高校	湧別高校
R6.7.16	総探2年部会打合せ	総探部会	各学校(ZOOM)
R6.7.19	総探3年部会打合せ	総探部会	各学校(ZOOM)
R6.7.20	合唱コンクール審査	音楽	湧別高校
R6.7.23	総探2年部会	総探部会	各学校(ZOOM)
R6.8.21	第4回事務局事前会議	事務局	各学校(ZOOM)
R6.8.27	総探部会	総探部会	各学校(ZOOM)
R6.9.1	未来計画(探究サポーター)	湧別高校	湧別高校
R6.9.2	第4回事務局会議	事務局	各学校(ZOOM)
R6.9.5	自然体験学習(理科部会)	理科	芭露学園
R6.9.10	養護部会	養護	湧別高校
R6.9.12	総探3年部会「職場体験学習」	総探部会	各事業所
R6.9.13	中学生体験入学(中3生対象)	湧別高校	湧別高校
R6.9.28	第2回実用英語技能検定(中学生)	英語	湧別高校
R6.10.8	第5回事務局事前会議	事務局	各学校(ZOOM)
R6.10.9	未来計画(探究サポーター)	湧別高校	湧別高校
R6.10.11	総探1年部会「職業を身近に感じよう講演会」	総探部会	上湧別中学校
R6.10.12	第2回日本漢字能力検定(中学生)	国語	湧別高校
R6.10.12	第2回実用数学技能検定(中学生)	数学	湧別高校
R6.10.15	第5回事務局会議	事務局	各学校(ZOOM)
R6.10.15	教育課程・学習指導部会	教育課程・学習指導部会	各学校(ZOOM)
R6.10.19	合唱コンクール審査	音楽	上湧別中学校
R6.10.23	総探2年部会「職業と私講演会」	総探部会	文化センターさざ波
R6.11.2	中高合同部活動クリニック(運動部)	特別活動・生徒指導部会	湧別高校
R6.11.12	第6回事務局事前会議	事務局	各学校(ZOOM)
R6.11.19	総探部会	総探部会	各学校(ZOOM)
R6.11.21	第6回事務局会議	事務局	各学校(ZOOM)
R6.11.21	中学生体験入学(中2生対象)	湧別高校	湧別高校
R6.12.4	入学者選抜調整会議	湧別高校	湧別高校
R6.12.9	第7回事務局事前会議	事務局	各学校(ZOOM)
R6.12.11	中高L-Gate研修会	教育課程・学習指導部会	ゆうべつ学園
R6.12.13	理科部会(乗り入れ授業)	理科	湧別高校
R6.12.17	第7回事務局会議	事務局	各学校(ZOOM)
R6.12.18	未来計画活動報告会	湧別高校	湧別高校
R6.12.25	第2回教育推進協議会	事務局	文化センターさざ波
R6.12.25	中高第1回iPad研修会	教育課程・学習指導部会	各学校等(ZOOM)
R7.1.14	総探代表者会議	総探部会	各学校等(ZOOM)
R7.1.14	中高第2回iPad研修会	教育課程・学習指導部会	各学校等(ZOOM)
R7.1.21	第8回事務局会議事前会議	事務局	各学校等(ZOOM)
R7.1.25	中高一貫リーダー研修会	特別活動・生徒指導部会	湧別高校
R7.1.27	第8回事務局会議	事務局	湧別高校
R7.1.28	養護部会	養護	湧別高校
R7.1.18	第3回実用英語技能検定(中学生)	英語	湧別高校
R7.1.31	第3回日本漢字能力検定(中学生)	国語	湧別高校
R7.2.4	総探全体会議	総探部会	各学校等(ZOOM)
R7.2.8	第3回実用数学技能検定(中学生)	数学	湧別高校
R7.2.17	中高一貫合同反省会	事務局	文化センターさざ波
R7.2.25	つなぎ学習	国語・数学・英語	各学校(ZOOM)
R7.3.13	第9回事務局会議事前会議	事務局	各学校等(ZOOM)
R7.3.18	第9回事務局会議	事務局	湧別高校

# 令和6年度 第1回湧別地区中高一貫教育推進事務局会議 議事録

日時 令和6年4月11日(木) 10:00～

場所 北海道湧別高等学校 会議室

➤ 司会は、**上湧別中(伊藤教頭)**→芭露学園(瀬川教頭)→ゆうべつ学園(豊原教頭)の輪番

## 議題

### 1 令和6年度湧別地区中高一貫教育推進委員会総会について

- ・当日の流れ等。 ※別紙参照。
- ・活動方針について。(□囲みが検討事項。) ※別紙参照。
- ・規約について。(STC→総探) ※別紙参照。
- ・令和6年度中高一貫教育推進委員会の名簿について  
事務局から入力用データを事前に各学校等へ送付します。  
※推進協議会の副委員長は、上湧別中→ゆうべつ学園→芭露学園の輪番です。令和6年度は上湧別中学校になります。
- ・各学校のスクールカレンダーについて  
→町教委作成のR6町内各校行事予定を当日配付する。
- ・年間計画は、集録に掲載済み。詳細は、各部会で話し合い。事務局では集約しない。

**【4月16日(火)までに、次のデータを事務局あて、メールで提出してください。】**

○令和6年度中高一貫教育推進委員会の名簿(様式は事務局から送付します。)

**【質問】総探部会、各校何名出せばよいか。**

**【回答】資料7ページのとおり、旧STC部会と同じ人数選出。**

**【質問】レジュメに記載のとおり、他の部会と兼任している方がいるため、後日設定が望ましい。**

**【回答】総探部会は総会当日の開催が難しい。**

**【質問】令和5年度合同反省会で、理科部会から提案があった教科会の予算付けについて、全教科一律の金額(一万円)になっているが、教科によって一万円を超えてもいいか。**

**【回答】可能。**

**【意見】教科毎に分けずに、各教科から出た要望を受けてから予算割振を決定してはどうか。**

**【回答】そのようにする。**

**【意見】予算書の文言 STC→総探部会に修正した方が良いのではないか。**

**【回答】そのようにする。**

**【意見】今年度の各学校の年間行事予定表は、町教委で集約しているものを使用することとしたい。**

**【回答】異議無し。**

### 2 令和6年度合同反省会の日程について

- ・(案)令和7年2月17日(月)14:00～ TOM

**【回答】異議無し。**

### 3 令和7年度連携入試について

- ・プレゼン内容「中高一貫教育による学習のまとめ」。
- ・申し合わせ事項として、「各校で取り組んでいる地域学習に係る内容」とする。

**【確認】形式は従来どおり、内容が「地域に関する学習」になる。**

## 4 各部会から

### (1) 教育課程部会

今年1年かけて、「教科部会の在り方」を検討する。

課題：中学校の負担が大きい（中高一貫、学推協の両方に所属）

令和7年度より学推協の在り方も変わる予定（新しい部会ができる可能性あり）

各校の構成人数も少なくなっている。

旅費の出所は中高一貫/学推協2つに分かれる。

中高一貫と学推協の団体を一つにするのは不可能（目的が異なるため）

**ただし、教科部会の取り組みについては可能（町教委としては昨年度からそう伝えている）**

### (2) 生徒指導部会

従来どおり、合同講演会、リーダー研修会、部活動クリニックを進める。

### (3) 総探部会

後日書面会議→各校代表者会議の流れで進める。

## 5 その他

### <次回事務局会議の日時設定について>

5月28日（火） 10：00～ 湧別高校会議室

## 令和6年度 第2回湧別地区中高一貫教育推進事務局会議議事録

日時 令和6年5月28日(火) 10:00～

場所 北海道湧別高等学校 会議室

➤ 司会は、上湧別中(伊藤教頭) → 芭露学園(瀬川教頭) → ゆうべつ学園(豊原教頭)の輪番

議題

### 1 シラバスについて

- ・推進協議会では、単元配列表への移行の話題も出たが、最終的には教育課程部会で検討することで了解済み。
- ・教育課程部会で検討した結果、**例年どおり作成**。
- ・現在、教育課程部会で集約中。

【補足】

- ・当初、各学校の活用状況から、シラバスではなく、単元配列表で代替できないかという提案があった。
- ・連携型入学者選抜に係る特例申請において、例年シラバスを局へ提出していた経緯もあることから、事務局より教育局へ次のとおり照会。  
「特例申請の資料としてシラバスではなく単元配列表でも可能か。」
- ・教育局(高校班主査)より回答。  
「シラバスが望ましいが、中高が連携している状況がわかる資料であれば他の資料でも可能。」  
「特例申請に当たっては、例年、通知の形式ではなく、情報提供の形式として資料をいただいている状況のため、限定的な資料の提示を求める根拠はない。」

【意見】

- ・単元配列表はシラバスよりも作成が大変。今後もシラバスで良いのではないか。

### 2 令和7年度中高一貫教育連携入試に係る特例申請について

- ・今年度より廃止のSTCの文言を削除し、昨年度と同様に申請。

### 3 令和6年度中高一貫教育推進委員名簿の訂正について

- ・別紙のとおり。

### 4 令和6年度8月～12月の諸会議の日程調整について

- ・本会議後、電子メールで調査票を送付。

- 提出期限：6月12日(水)
- 提出先：湧別高校教頭 渡部 倫也
- ※調査票をメールで送付してください。

## 5 各部会から

### (1) 教育課程部会

- ・シラバス作成済
- ・中高一貫だよりは合同講演会終了後、初回発行予定。
- ・研修会実施（ICT 関係で外部講師を呼ぶ形で実施、各校に希望講師の調査実施、予算 16 万円）

小中学校は Google ではなくシーフォースを使用

（不登校生徒への対応：上中・ゆうべつ学園は Zoom、芭露は Face Time を活用）

### (2) 生徒指導部会

＜文化系：吹奏楽＞

5月25日 部活動クリニック①クラリネット講習

6月16日 部活動クリニック②ホルン講習

7月 ●日 部活動クリニック③フルート講習

＜運動系＞

7月12日 さざ波で合同講演会（講師：レバンガの折茂社長 and 関野選手）

12月 ●日 クリニック実施予定（講師：金子氏）

12月 ●日 リーダー研修

### (3) 総探部会

- ・STC 部会時代と同様の内容実施

## 6 その他

- ・「ゆうべつ学」について

＜ゆうべつ学園＞

「ゆうべつ学」実施3年目、湧別のことだけでは課題不足

学年進むごとに範囲を広げる（例：湧別→オホーツク、日本というように範囲を広げる）

＜上湧別＞

「ゆうべつ学」実施1年目、1年目ですがゆうべつ学園と同様、「ゆうべつ学」だけでは持たないと予想。同時に、「ゆうべつ学」と「キャリア教育」の両立についても懸念あり。

- ・サロマ湖100km マラソンボランティアを後期課程教職員・生徒全員参加  
「ゆうべつ学」カウントで実施、翌日代休

### ＜次回事務局会議の日時設定について＞

7月9日（火） 10：00～ 湧別高校会議室

## 令和6年度 第3回湧別地区中高一貫教育推進事務局会議議事録

日時 令和6年7月9日(火) 10:00～

場所 北海道湧別高等学校 会議室

➤ 司会は、上湧別中(伊藤教頭) → 芭露学園(瀬川教頭) → ゆうべつ学園(豊原教頭)  
の輪番

議題

### 1 令和6年度中高一貫教育推進委員名簿の再訂正について

- ・別紙のとおり。

### 2 令和6年度8月～12月の諸会議(案)について

日	時間	会議
8月21日(水)	10:00～	第4回事務局事前会議
9月2日(月)	10:00～	第4回事務局会議
10月8日(火)	10:00～	第5回事務局事前会議
10月15日(火)	10:00～	第5回事務局会議
11月12日(火)	10:00～	第6回事務局事前会議
11月21日(木)	10:00～	第6回事務局会議
12月9日(月)	10:00～	第7回事務局事前会議
12月17日(火)	10:00～	第7回事務局会議

### 3 ZOOMアカウントについて

- ・今後、中高一貫事前会議(議題が少ない場合)、つなぎ学習や各教科の打合せを含め、中高一貫で事務局会議以外でも活用予定。

<補足>

使用する場合は事前に管理職(教頭)間で連絡を行う。  
21,000円(予算は中高一貫より支出)で1年契約。

### 4 各部会から

#### (1) 教育課程部会

秋にICT研修開催予定

講師候補:APPLEの方

中高一貫合同講演会后、中高一貫だより発行予定

#### (2) 生徒指導部会

7/12(金) 中高一貫合同講演会

日程未定 部活動クリニック(運動系)

日程未定 リーダー研修会

#### (3) 総探部会

7月中 1～3年各総探部会実施予定

## 5 その他

- ・本校全国募集の取組について  
8月24、25日 学校説明会実施（東京にて対面で）
- ・本校HPのリニューアルについて  
携帯電話でもPCと同様に体裁が崩れずに見えるよう改善済
- ・本校学校祭（7月20日、21日）について  
500円分の食券無料配布、明日までアクセス可能
- ・本校体験入学（9月13日）について  
別紙資料を用いて、時程や概要等、校内で周知をお願いします。  
11月頃 中学校2年生対象体験入学実施予定
- ・1学年対象アンケートについて  
例年実施しているもの、参考まで。
- ・公設塾設置に向けた検討状況（湧別町企画財政課より）  
令和7年10月開設予定  
アドバイザーからの助言を受けて、今月中にコンセプト決定  
遅くとも来年4月にはスタッフ設置、10月に向けて準備開始  
△スタッフ設置時期はもっと早まる可能性あり、試験的な開講も視野に入れている。  
道外募集にも力を入れるが、町内からの進学率向上を目指す。  
今後、各学校で教員に周知していただく。  
ねらい：大学進学対策、低学力層対策、居場所づくり  
【意見】今年度の学校見学会や体験入学会等で周知すると、入学生増にも繋がるのではないか。

### <次回事務局会議の日時設定について>

9月2日（月） 10：00～ 湧別高校会議室

## 令和6年度 第4回湧別地区中高一貫教育推進事務局会議議事録

日時 令和6年9月2日(水) 10:00～

場所 各学校【ZOOMによる遠隔開催】

➤ 司会は、**上湧別中(伊藤教頭)** → 芭露学園(瀬川教頭) → ゆうべつ学園(豊原教頭)の輪番

議題

### 1 体験入学について

- ・別添資料のとおり、各学校へ文書送付済み。
- ・高校への報告は9月4日(水)まで。

※【参考】全国募集版の案内

### 2 令和6年度中高一貫合同反省会議について

- ・令和7年2月17日(月) 14:00～15:30
- ・文化センターさざ波(多目的ホール他)

### 3 ZOOMアカウントについて

- ・総探部会で活用。
- ・使用する場合は、事務局へ連絡願う。

### 4 各部会から

#### (1) 教育課程部会

○懸案事項

ICT研修会実施について

講師2名候補あり。

場所・時間調整の点で、一堂に会すのは難しい。

→行事予定等確認し、各校で実施がベストか。

ZOOMでの実施もあり。

【結論】長期休業中(冬休み中)に各校で日程を決め、講師に計4回実施を依頼。  
オンデマンドもありだが、対面でないと質疑ができない。→講師に相談。

#### (2) 生徒指導部会

○終了報告

7月12日(水) 中高合同講演会

○今後の予定

11月 2日(土) 10:00～

部活動クリニック(運動系) 湧別高校体育館で実施予定

講師: 金子様(オホーツクアスレチック協会)

対象: 運動系部活動所属生徒(任意)

スクールバスで湧別高校へ移動

【質問】部活動無所属性との参加は可能か。

【回答】引率教員がいれば参加可能。

(3) 総探部会

○今後の予定

職場体験学習（中3）実施

職業と私講演会（中2）@さざ波実施

外部講師（Jerry 中島様）による授業@ゆうべつ、上中実施

**5 その他**

○以下、3点について事務局より報告及び情報提供

(1) 湧別高校学校説明会（東京）について

(2) 中高一貫特例申請について

(3) 令和7年度 湧虹祭の日程について

**<次回事務局会議の日時設定について>**

10月15日（月） 10:00～ ZOOMによる遠隔開催又は湧別高校会議室

# 令和6年度 第5回湧別地区中高一貫教育推進事務局会議議事録

日時 令和6年10月15日(火) 10:00～

場所 各学校【ZOOMによる遠隔開催】

➤ 司会は、上湧別中(伊藤教頭)→芭露学園(瀬川教頭)→ゆうべつ学園(豊原教頭)の輪番  
ゆうべつ学園(豊原教頭)不在

議題

## 1 未来計画に係る各種アンケートのお願いについて(実施済み)

- ・湧別高校の魅力化等を課題設定し、遠軽高校の生徒、町内義務教育学校・中学校の生徒、教職員へアンケートを行うゼミがある。
- ・高校が町教委にアンケート内容の事前確認を受けた後、高校が町内の各学校へ依頼。
- ・アンケートはGoogleフォームからの回答。フォーム作成・管理等は教職員が行う。
- ・個人情報収集する項目なし。

## 2 湧別高校「地域と生活」における「服のチカラプロジェクト」への協力をお願いについて(周知)

- ・例年、湧別高校の学校設定科目「地域と生活」において、標記プロジェクトに参画。町内各所に古着の回収BOXを設置。回収古着を、実施主体へ提供するプロジェクト。
- ・ユニクロを展開するファーストリテイリング社が実施主体。
- ・高校から関係各所へ事前連絡の上、生徒が回収ボックスの設置、設置期間終了後に回収に伺うことがあるため、ご理解とご協力をお願いする。
- ・現在、中湧別小学校、ゆうべつ学園、上湧別中学校の生徒へ向けて、本校生徒がプロジェクトに係るプレゼンを実施予定。(日程等は担当で調整中)

## 3 湧別高校体験入学(中2生向け)の実施について(事前周知)

- ・11月15日(金)12:40～受付、～15:55解散 で準備中。
- ・詳細決定次第、案内文送付予定。

## 4 入学者選抜調整会議の開催について(事前周知)

- ・12月4日(水)10:00 湧別高校会議室 で準備中。
- ・中学校のオンライン入力開始(12月6日(金))前に実施。

## 5 各部会から

### (1) 教育課程部会

資料に基づき、事務局が説明

本日 15:30～中高一貫教育課程部会 @ZOOM 実施予定

### (2) 生徒指導部会

資料に基づき、担当が説明

芭露学園部活動クリニック

謝辞担当：湧別高校ラグビー部主将

芭露学園、上湧別中学校について、バスに必ず引率教諭が乗車すること。

### (3) 総探部会

3年職場体験終了、2年職業を身近に感じよう講演会終了

## 6 その他

- ・道外からの体験入学参加者

9月13日：横浜市立南高等学校附属中学校3年生 女子1名

10月25日：さいたま市本太中学校2年生 男子1名

10月31日：神奈川県平塚市立大住中学校3年生 男子1名

- ・eスポーツ部の活動状況について

12月13～15日：札幌デザイン&dsテクノロジー専門学校へ合宿

1月25or26日：道内4校+札幌の学生でローカル大会実施予定(日程調整中)

## <次回事務局会議の日時設定について>

11月21日(木) 10:00～ ZOOMによる遠隔開催又は湧別高校会議室

## 令和6年度 第6回湧別地区中高一貫教育推進事務局会議議事録

日時 令和6年11月21日(木) 10:00～

場所 各学校【ZOOMによる遠隔開催】

➤ 司会は、上湧別中(伊藤教頭)→芭露学園(瀬川教頭)→ゆうべつ学園(豊原教頭)の輪番

### 議題

#### 1 令和6年度1～3月、令和7年度4～7月中高一貫諸会議等の日程調整について(依頼済み)

- ・令和6年度1～3月:11月22日ㄨ 12月事務局会議で提案予定
- ・令和7年度4～7月:12月18日ㄨ 1月事務局会議で提案予定

#### 2 中学生体験入学(中3生対象)アンケート結果について

- ・別紙参照

#### 3 各部会から

- (1) 教育課程部会  
資料に基づき、事務局が説明
- (2) 生徒指導部会  
芭露学園部活動クリニック報告  
リーダー研修会日程調整次第報告
- (3) 総探部会  
職場体験学習、講演会終了報告

#### 4 その他

- ・10月24日実施、CN募集説明会の様子について(3名参加)
- ・11月26～30日:関西方面見学旅行
- ・12月7日(土)実施、高校生主催によるイベントについて  
質問:お菓子撒きのアンケートは上湧別地区の学校には行わないのか  
質問:小学校でイベントの周知が必要かどうか
- ・12月4日(水)連携入試協議について

#### <次回事務局会議の日時設定について>

12月17日(火) 10:00～ ZOOMによる遠隔開催又は湧別高校会議室

## 令和6年度 第7回湧別地区中高一貫教育推進事務局会議 レジюме

日時 令和6年12月17日(火) 10:00～

場所 各学校【ZOOMによる遠隔開催】

➤ 司会は、**上湧別中(伊藤教頭)**→芭露学園(瀬川教頭)→ゆうべつ学園(豊原教頭)の輪番

### 議題

#### 1 令和6年度1～3月の日程について

- ・1月21日(火) 10:00 事務局事前会議
- ・1月27日(月) 10:00 第8回事務局会議
- ・3月13日(木) 10:00 事務局事前会議
- ・3月18日(火) 10:00 第9回事務局会議

#### 2 つなぎ学習の実施について

- ・対象 連携型入学者選抜において本校に合格内定となった者
- ・予定日時 2月25日(火) 9:25～10:15 数学  
10:25～11:15 英語  
11:25～12:15 国語
- ・実施方法 ZOOMによる遠隔実施
- ・その他 参加対象者へ事前にテキスト配付の上、予習範囲を周知終了後、参加対象者へアンケート実施

#### 3 合同反省会(2月17日実施)へ向けて

- ・反省アンケートの提出について  
提出期限：令和7年2月6日(木)  
【変更点】  
実践部会について  
例年、教科部会後に実施していたが、当日は実施しない。  
各実践部会において、書面又はZOOMで実施する。

#### 4 研究集録へ向けて

- ・原稿提出期限：令和7年2月27日(木)
- ・合同反省会議後の作成になりますが、事務局よりデータを事前送付します。  
作成者：各部会部長 → 各校教頭が取りまとめて事務局へデータ送付  
【変更点】  
今年度よりPDF化し、本校HPに掲載、町教委のHPに掲載は今後検討

#### 5 各部会から

- (1) 教育課程部会  
近日中に中高一貫だより配布予定
- (2) 生徒指導部会  
1/25(土)リーダー研修実施予定
- (3) 総探部会  
予定していた事業全て終了、各学年資料作成中

## 6 その他

事務局より

【周知】

- (1) 令和7年4月～7月までの行事予定表を事務局へ提出  
次回の事務局会議で来年度の事務局会議日程提案
- (2) 明日未来計画全体向報告会あり

【問】 今年度の決算見込は出ているか。例年、合同反省会で教科予算について質問や意見が出ているので、そこに間に合わせた方が良いのではないか。

【答】 まだ出していない。各部会からの申請状況が停滞気味。

【問】 いつまでに申請したら良いか。

【答】 1月中を目処にお願いしたい。

### <次回事務局会議の日時設定について>

1月27日（月） 10：00～ ZOOMによる遠隔開催又は湧別高校会議室

## 令和6年度 第8回湧別地区中高一貫教育推進事務局会議議事録

日時 令和7年1月27日(月) 10:00～

場所 湧別高校事務室

司会は、上湧別中(伊藤教頭)→**芭露学園(瀬川教頭)**→ゆうべつ学園(豊原教頭)の輪番  
※事務長：欠席

### 議題

#### 1 令和6年度合同反省会議について(2月17日(月)14:00)

(1) 令和8年度以降の連携型入学者選抜の特例実施について【推進協議会より】

- ・今後、湧別高校と義務教育学校の連携は継続。
- ・令和8・9年度は現在と同じ特例で実施。

**【質問】** 令和10年度入試(現中学1年生が受検)の予定を知りたい。  
進路指導を進める上で必要。

**【回答】** 令和8・9年度受検生は入学当時、中学校在籍だったため上記の対応になった。  
令和10年度受検生は中学校入学当時、中学校在籍でないため、現時点では対応未定。

(2) 総探部会について【推進協議会より】

ア 進捗について

- ・連携入試において、「地域に関わる探究活動」のまとめのプレゼンを実施。  
→これにより、高校が中学校での取組内容を把握できる。

イ 令和7年度以降について

- ・「未来計画」の発表の場に、8年生に参加してもらう。
- ・「未来計画」以外の教科・科目(「北海道学」・「地域と生活」)に「地域に関わる探究活動」の内容を繋げる。
- ・特例申請時、探究のつながりがわかる資料の提出が必要になるため、簡単な資料を準備する必要あり。

**【補足】** 今後の活動について要検討。

**【意見】** 高校と中学校の学習内容を無理に繋げる必要はないのではないか。  
中学校で身に付けた力を高校で応用させるという考え方で良いのではないかと。

(3) 教科部会の在り方について【推進協議会より】

- ・中学校、義務教育学校教頭が各校の意見をとりまとめ、よりよい教科部会の持ち方や小-中-高の関わり方を検討。
- ・合同反省会議または、次年度の総会で提案。

**【意見】** 中学校の先生方の負担大

中高の教科部会を無くし、高校が学推協に参加

前期課程の先生は高校の先生との関わりが希薄

令和7年度は「検討の年」

現時点で令和10年度以降が未定

→町の施策として中高一貫継続の意向

学推協と中高一貫の性質が異なり、組織としての一本化は困難

→意見：両方解体し、再構築してはどうか

会議のあり方(前半：学推協 後半：中高一貫で分ける)

(4) 反省会当日、上記内容についての説明及び質疑応答担当は以下のとおりとする。

- ・(1)は町教委、(2)は高校・総探部会、(3)は教育課程部会。

(5) 反省アンケートの提出について(再掲)

提出期限：令和7年2月6日(木)

#### 2 研究集録へ向けて(再掲)

- ・原稿提出期限：令和7年2月27日(木)
- ・PDFデータ掲載場所(案)：湧別高校HP、湧別町教育委員会HP

### 3 令和7年度体験入学(9年生向け)について

- ・全国募集に係る学校説明会の関係から、早期に日程を周知する必要あり。  
※生徒・保護者の日程確保、飛行機・宿泊手配等
- ・現時点での説明会予定は、以下のとおり。(※②+①or③のいずれか)
  - ① 6月21・22日：東京説明会※
  - ② 7月26・27日：札幌説明会
  - ③ 8月23・24日：東京説明会※
- ・(案) 令和7年9月12日(金) 12:30～ ※遠軽高校は9月9日(火)

### 4 令和7年度4～7月の諸会議日程(予定)について

- ・4月4日(金) ※書面開催
- ・4月10日(木) 10:00 第1回事務局会議(湧別高校会議室)
- ・4月15日(火) 10:00 第1回推進協議会(さざ波)
- ・4月24日(木) 14:00 総会(TOM)
- ・5月9日(金) 10:00 事務局事前会議(ZOOM)
- ・5月16日(金) 10:00 第2回事務局会議
- ・6月11日(水) 10:00 事務局事前会議(ZOOM)
- ・6月18日(水) 10:00 第3回事務局会議
- ・7月10日(木) 10:00 事務局事前会議(ZOOM)
- ・7月17日(木) 10:00 第4回事務局会議

### 5 入学者選抜に係る事前連絡について

- ・Web申請の状況について、重複申請が多数確認されている状況。
- ・紙で提出された願書とWeb申請のデータを照合し、誤ったデータは高校が削除する。
- ・重複データが確認された場合、基本的に紙の願書とデータの【受付番号】を照合。
- ・【受付番号】を照合したデータを高校が削除する。

### 6 各部会から

#### (1) 教育課程部会

- ・ICT研修会実施  
令和7年度以降もICT活用能力向上のため継続希望
- ・乗り入れ授業の在り方  
該当教科の教員同士のやりとりに終始せず、各教科部会長が要項を作成し、高校の教頭に周知すべき。  
→2/17(月)合同反省会にて事務局から周知

#### (2) 生徒指導部会

1/25(土)中高一貫リーダー研修会実施

#### (2) 総探部会

前述のとおり

### 7 その他

2月3日(月) 地域コーディネイター 田中さんがNHK地域版出演

#### <次回事務局会議の日時設定について>

3月18日(火) 10:00～ ZOOMによる遠隔開催又は湧別高校会議室

## 令和6年度 第9回湧別地区中高一貫教育推進事務局会議議事録

日時 令和7年3月18日(火) 10:00～

場所 湧別高校会議室

➤ 司会は、上湧別中(伊藤教頭)→芭露学園(瀬川教頭)→ゆうべつ学園(豊原教頭)の輪番

議題

### 1 中高一貫教科部会と学推協教科部会との関係について(推進協議会での協議内容を踏まえて)

【意見等】

- ・中高一貫と学推協の教科部会の関係については、学推協の意見も聞かなければならないと考える。
- ・学推協は研修、中高一貫は連携が目的であるが、研究授業や見学、乗り入れ授業は、合同でできるのではないか。
- ・小・中・高が、授業でつながるということが重要で、是非、前期課程の授業を見てほしい。
- ・小・中一中・高がどのようにつながるか。誰がコントロールするかが難しいのでは。
- ・令和7年度の学推協の総会、運営協議会に提案するとしたら、出し方が唐突ではないか。
- ・中高一貫から提案があったという形で、学推協で提案してはどうか。
- ・中高一貫の教科部会は4月から、学推協の教科部会は5月から活動が始まる。それぞれ、やれる教科からやってみましょうという呼びかけで始めるのが良いのではないか。

【結論】

- 推進委員会から総会で提案し、その後、事務局をとおして、教科部会が動くように進める。各教科の調整は、必要に応じて学推協と中高一貫のそれぞれの教科部会長が行う。
- 令和7年度は、中高から学推協へ、連携に向けて呼びかける1年とする。教育課程・学習指導部会が、各教科の状況を取りまとめ、令和8年度から各教科がある程度、共通の部会の持ち方ができるよう、令和7年度の合同反省会議で提案する。

### 2 令和7年度中高一貫合同総会へ向けて

(1) 日時及び会場：令和7年4月24日(木) 14:00 さざ波

(2) 実践部会について

反省会同様、教育課程、特活・生徒指導、総探の3部会は、別日に ZOOM 又は書面で実施。

【質問】資料「理念・テーマ・柱(特色)・連携の概要」の特別活動・生徒指導部会について、講演会の講師は湧別町出身者でなければいけないのか。

【回答】湧別町出身者等とし、限定しない形で文言を修正する。

### 3 研究集録へ向けて

- ・PDFデータ掲載場所：湧別高校HP、湧別町教育委員会HP
- ・本日の事務局会議の会議録をもって完成。

#### 4 つなぎ学習のアンケート結果について

- ・ 2月25日（月）に実施済み。
- ・ アンケート結果は概ね好評。

【意見】先生方へのアンケートも実施して欲しい。

【回答】承知した。

【意見】生徒から次のような意見が出たため、つなぎ学習の実施方法について検討して欲しい。

① 一斉授業形式への不安

中学校では「学びの共同体」という協働学習形式で授業を行っているため

② 視聴ツールの不均衡

ゆうべつ学園は一人一台端末で視聴、上湧別中学校はTV一台で視聴

ある科目で chat 機能の使用を促されたが、上湧別中学校では対応できなかった。

【回答】承知した。来年度は学校ごとに差異が出ないように調整する。

#### 5 令和7年度4～7月の諸会議日程(予定)について(再掲)

- ・ 4月4日（金）※書面開催
- ・ 4月10日（木）10:00 第1回事務局会議（湧別高校会議室）※対面
- ・ 4月15日（火）10:00 第1回推進協議会（さざ波）
- ・ 4月24日（木）14:00 総会（さざ波）
- ・ 5月9日（金）10:00 事務局事前会議（ZOOM）
- ・ 5月16日（金）10:00 第2回事務局会議
- ・ 6月11日（水）10:00 事務局事前会議（ZOOM）
- ・ 6月18日（水）10:00 第3回事務局会議
- ・ 7月10日（木）10:00 事務局事前会議（ZOOM）
- ・ 7月17日（木）10:00 第4回事務局会議

【意見】5月以降の事務局会議は対面またはZOOMのいずれの形式か決まっているか。時間割調整の関係で早めに知りたい。

【回答】基本はZOOMで。ただ、議事の内容により、急遽対面で行う可能性もある。その場合、時間割の調整がつかずに参加が難しい場合はお知らせいただきたい。

#### 6 各部会から

- (1) 教育課程部会
- (2) 生徒指導部会
- (3) 総探部会

#### 7 その他

##### <令和7年度第1回事務局会議の日時設定について>

4月10日（木） 10:00～ 湧別高校会議室（対面で実施します）

## 5 成果と課題/次年度計画

## 成果と課題・次年度計画《教育課程・学習指導部会》

### 令和6年度 成果と課題

重点目標	成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年において全教科学年分のシラバスを作成し、有効活用を図る。</li> <li>・各教科部会において、授業交流・乗り入れ授業を積極的に行う。</li> <li>・授業交流において、各校の基礎・基本の充実を図る取組を行う。</li> <li>・つなぎ学習における乗り入れ授業が充実する取組を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各教科部会において授業交流・乗り入れ授業を積極的に行うことができた。</li> <li>②基礎学力テストに代わる取組として、生徒の学習の質を確保するためのつなぎ学習の取り組みを進めることができた。</li> <li>③ICT研修を通じて各教員の力量を高める活動ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①乗入授業・つなぎ授業の日程を工夫し、中高共に負担感が減るような取組をする。</li> <li>②昨年度より新たにスタートしたつなぎ学習の成果を精査し、さらに良い形で進めていけるようにする。</li> <li>④シラバスの活用方法について、有効的な活用方法を検討していく。</li> <li>⑤本部会の役割を精査し、目的を含めて検討する。</li> <li>⑥ICTを中心とした研修に力を入れ、各生徒の学習環境を高める取組を行う。</li> </ul>

### 令和7年度 年間計画

時期	実践項目の具体的内容
5月	シラバス配付 各学習指導部会計画作成 前年度のつなぎ学習の振り返り
11月 ～3月	年3回のICT研修 内容 L-Gate研修会・iPad研修会など 年3回の中高一貫だよりの発行 内容 第1回 合同講演会を終えて 第2回 部活動クリニックを終えて 第3回 リーダー研修会を終えて・湧別高校進学状況など
随時	教科部会の開催

## 成果と課題・次年度計画《特別活動・生徒指導部会》

### 令和6年度 成果と課題

重点目標	成果	課題
<b>1 リーダー研修会</b> 各学校の取組を交流することや、テーマに沿った議論を深めていくなどして、各校の生徒会活動の活性化を目指す。	1月25日、湧別高校にて開催。 中高の生徒会リーダーが一堂に会し、交流を深める良い機会となった。また、各校の取組を互いに交流することで自校の取組への良い刺激となった。	時期的に生徒会サミットと近いのでもう少し時期をずらせばよい。湧別高校生徒会の経験だけでなく、模擬討論や生徒会企画を想定したロールプレイなど今後の活動に活かせる内容で実施できるとよい。
<b>②-1 吹奏楽クリニック</b> 各学校の吹奏楽顧問の協力を得ながら、各楽器や合奏などの技術向上を目指したクリニックを実施する。	吹奏楽クリニック 5月25日、6月16日、7月7日、湧別高校にて開催。 各楽器の基礎練習から教わるため、基礎力が向上し、演奏技術に応用された。また、専門的に教えてもらうことができるため、指導者による不安解消にも繋がった。	中学校から高校までで楽器がそろっているパートが少ないため、今後の実施に関して、合奏の指導者にクリニックをお願いすることも検討しなければならない。また、交通費の上昇により講師の先生方への謝礼の金額が上がってしまう部分があるため、お願いする時に交渉することも必要である。
<b>②-2 運動部クリニック</b> いつも同じ部活動での開催になってしまい、毎回同じ部活動の顧問に負担がかかってしまうため、部活動に係る講演会を運動部の生徒対象に開催する。	運動部クリニック 11月2日、金子航太氏を講師に湧別高校にて開催。 全ての運動の基礎となる体幹を鍛えるトレーニング方法を教わり、参加した生徒からも好評であった。	運動部の生徒だけでなく、広く案内して全生徒を対象にできればよい。また、部活動が地域移行してもこの取組を継続できる仕組みにするべきである。
<b>③ 合同講演会</b> 湧別や北海道にゆかりのある講師を中心に選定する。	7月12日、バスケットボールチーム「レバンガ北海道」の折茂代表と関野選手を講師にさざ波にて開催。 関野選手のような地元出身の方が自分の夢を実現させたお話は生徒たちに希望を与えた。また、折茂氏の講話はバスケットボールに馴染みのない人にも共感できる内容で、多くの生徒に夢と希望を与える大変有意義な講演会であった。	さざ波で実施したが、湧別高校の生徒はスクールバスを利用できないので民間のバスを借り上げて送迎を行った。バス料金の値上げによっては事業の実施が困難になる場合も懸念される。

### 令和7年度 年間計画

時期	実践項目の具体的内容	備考
4	第1回特活生徒指導部会	第1回部会は総会の後に行う
5	部会体制確立、前年度反省に基づいた事業計画立案	
5	吹奏楽クリニック	
6	吹奏楽クリニック	
7	吹奏楽クリニック	
7	合同講演会（講師未定）	
11	部活動クリニック（講師未定）	
12	リーダー研修会（担当：ゆうべつ学園）	
2	活動反省	

## 成果と課題・次年度計画《総探部会》

令和6年度 成果と課題

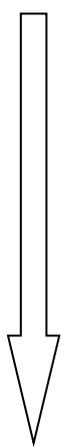
重点目標	成 果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携入試に向け、各義務教育学校で実施する探究学習の交流と地域訪問の調整を図る。</li> <li>・「ゆうべつ学・地域学習」の学び方を、未来計画に活かすことのできるよう成長段階（各学年）で身に付けるべき資質・能力を検討する</li> <li>・「ゆうべつ学・地域学習・未来計画」において地域性、子どもの発達段階や興味関心、学びの深まりに応じて各校ごとの「課題設定」により取り組みを進める。</li> <li>・自分の暮らしや地域の問題を見つめ、思いや願いを膨らませ、自己選択や自己決定を繰り返して深く考え、多様な他者と協働して課題を解決する能力の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年別の総探部会で計画した事業をそれぞれの学校に所属する先生方の協力のもとで滞りなく実施することができた。事業ごとの成果と反省については別紙参照</li> <li>・「ゆうべつ学」「地域学習」を子どもの興味関心に応じて学校ごとに課題を設定して実施することができた。</li> <li>・「総合的な学習の時間」において総探部会の事業に割ける時数は厳しいが、子どもの充実感や達成感を生み出すことができた。</li> <li>・各校が工夫して取り組んだ地域を知るための探求的活動を「総探レポート」として作成しそれぞれの取り組みを交流することができた。</li> <li>・各校の学習では子どもが主体性や協働性を持ち、地域の素晴らしさや抱えている問題などをよく知るきっかけに繋がった。</li> </ul>

課 題
<p>① S T Cで取り組んできた事業継続の意義はあったと思います。しかし例えば高校担当の先生が中学校事業の各学年に加わっていないなど、中高連携としては不十分な点が伺えました。→高校内の人手不足による体制の難しさ</p> <p>② 総探部会は「湧別町の探究学習の今後を考える」といった目的でスタートしました。ただ実際に何をどのように取り組むか明確でなかったため、総探部会に何を期待するのか推進協議会で検討いただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 連携入試において「ゆうべつ学・地域学習」のプレゼンし評価する。</li> <li>○ 「ゆうべつ学・地域学習」の学び方を、高校の未来計画に繋げる。</li> </ul> <p>③ 「ゆうべつ学」「地域学習」「未来計画」それぞれの目指すべき方向性が異なっており、また時間もなく町内の生徒交流は厳しいと思います。（総探レポートにより、集合によらない方法で交流）</p> <p>④ 連携入試が「ゆうべつ学、地域学習」を扱うことになり、その取り組みを焦点とするべきと考えます。</p> <p>⑤ S T C事業と各校探求学習で依頼する地域企業等がかぶってしまい、「ゆうべつ学」や「地域学習」の各校訪問に影響が出ました。内容的にも「ゆうべつ学」や「地域学習」と重複する部分があります。</p> <p>⑥ 「ゆうべつ学」「地域学習」のどちらもいずれネタが尽きることが懸念されます。</p> <p>→ 芭露学園のような「地域・オホーツク・北海道」といった学習段階にすべき？</p> <p>⑦ 未来計画との連携において具体的な取り組みが連携入試以外にありませんでした。</p> <p>→ 湧別高校からの提案、未来計画の生徒発表に中学生が参加する取り組み</p>

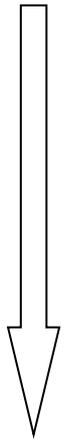
→上記課題を踏まえた方向性

- 1 S T C事業を廃止し、総探部会は各校代表1名+部長の5名構成に変更する。
- 2 連携入試に向けた「ゆうべつ学」と「地域学習」の調整を図る場にする。
- 3 湧別高校未来計画の様子を担当が交流し、連携入試に向け生徒が目標とする資質・能力を検討する。
- 4 他校の探究活動の情報がわかるよう総探レポートを作成し交流する。
- 5 湧別高校からの要請があるため、町内の中学校2年生を報告会に参加する。\*2時間  
(各校で生まれた時間はそれぞれの学校で運用)

令和6年度の取り組み

時期	実践項目の具体的内容	
4月 5月～7月	中高一貫教育総会 各学年事業計画作成 (1年：職業を身近に感じよう講演会) (2年：「職業と私」講演会) (3年：職場体験学習)	 未来計画 年8回 探求サポーターや報告会  7月 中間報告会  12月 生徒活動報告会  地域の方が授業に加わって いただく活動 年5回  2月 全体報告会
9月～11月	各部会の事業実施 1年→10月上旬 2年→10月下旬 3年→9月上～中旬	
12月～1月	総探レポートの作成 各部会反省 全体担当者会議	

令和7年度の予定

時期	実践項目の具体的内容	
4月 5月	中高一貫教育総会 「ゆうべつ学」「地域学習」「未来計画」 第1回調整会議	 未来計画 年8回 探求サポーターや報告会  7月 中間報告会  12月 生徒活動報告会  地域の方が授業に加わって いただく活動 年5回  2月 全体報告会
7月～8月	「ゆうべつ学」「地域学習」「未来計画」 第2回調整会議	
11月	中学校2年生「未来計画活動報告会」参加	
1月～2月	総探レポート作成	
1月下	「ゆうべつ学」「地域学習」「未来計画」 第3回調整会議	

## 総探部会 令和6年度活動内容・成果・反省

### ○【1年】総探部会 令和6年度の実績

活動内容	成果
<p>中学校1年生総探プログラム  「職業を身近に感じよう講演会」  令和6年10月11日（金）実施  講演者：林 勇介氏（ふるさと館JRY学芸員）  講演内容：中学生の頃の私  上湧別中学校 9：45～10：35  ゆうべつ学園 11：40～12：30  * 芭露は複式のため2年生の事業に参加</p>	<p>ふるさと館JRYの学芸員である林勇介氏に学芸員としての仕事に辿り着くまでをわかりやすく説明いただいた。幼少期からの足跡を、年表を使いながら自分自身が当時考えていたことや経験したことを具体的に話して貰った。生徒は林さんの話に共感し、「林さんと同じ境遇ならどのように進路選択するか」といった視点に立って考えることができた。</p>

### ○活動写真



### ○令和6年度の反省があれば入力してください

芭露学園は、来年度7、8年生合同で講演会に参加する。（7年生4名、8年生2名の計6名）  
実施した学校では、1年生にとって、自分の人生を考える貴重な機会だった。  
※その他には、特に何もありませんでした。

## 総探部会 令和6年度活動内容・成果・反省

### ○【2年】総探部会 令和6年度の実績

活動内容	成果
<p>中学校2年生総探プログラム 「職業と私」講演会 令和6年10月23日(水)実施 講演者：上湧別庁舎宍戸さん、児童センター水谷さん 美容エルム渡邊さん、有限会社イワイ岩井さん 小崎農場小崎さん、パティスリーコマンス野田さん 曾我病院片岡さん、西村組見神さん 講演内容：ブースごとに仕事内容・やり甲斐など説明 会場：文化センター さざ波 多目ホール</p>	<p>湧別町で活躍する地元の企業や役場の代表者の方をお招きし、仕事の内容や大変さ、達成感を感じる瞬間等についてお話しいただいた。生徒は予め質問を準備しておき、その質問に自分たちの立場でそれぞれ丁寧にお答えいただいた。生徒達は興味深く講師の話を聴き、端末で熱心に記録する様子が伺えた。自分達の将来について思考を巡らし、様々な可能性を考えるきっかけになった。</p>

### ○活動写真



### ○令和6年度の反省があれば入力してください

SSD での引継ぎのみで、部長になったので「職業と私」講演会の資料をすべて読みながら行い時間がかかった。実施要項には書いていない事項で、イスを始めは生徒が座るように中央に並べておいて、その後、自分のブースに移動するということが当日に言われたため混乱があった。バス移動が早く、生徒の待ち時間が長かったので、次回は少し遅くしても良いと考える。

「職業と私」講演会自体は生徒たちが真剣に話を聞いており、お話を聞くことができ良かったということでしたので、継続出来たら良いと考える。今後、生徒数が減少することが予想されるため、講師の人数は考える余地がある。

## 総探部会 令和6年度活動内容・成果・反省

### ○【3年】総探部会 令和6年度の実績

活 動 内 容	成 果
<p>中学校3年生総探プログラム 「職場体験学習」 令和6年9月12日(木)実施 実習場所：漁業組合、小崎農場、沢口産業、髪巧城Aコープ、チューリップの湯、認定こども園、芭露保育所、湧愛園、湖水の杜、消防署、図書館、JRY、役場、芭露学園など 内容：湧別町にある様々な職場を訪問し体験学習をする。挨拶・礼状作成など社会性を磨く取り組み</p>	<p>「職場体験学習」を通して、職業に就くためにはどのような力が大切なのかを実感する機会を作ることができた。 短時間ではあったが実習を通して「働くこと」の大変さを学び、親への感謝を示す生徒が多々いた。 生徒の実施後のアンケートでは、仕事へのやりがいを感じた生徒や嬉しかったことなど働くことへの前向きな回答が多く、将来を考える良い機会になった。</p>

### ○活動写真



### ○令和6年度の実績があれば入力してください

<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備に取れる時間が少ない場合、自己紹介カードは簡素化しても良かったと感じた。</li> <li>・持ち物や時間の確認は生徒自身が挨拶もかねて電話で確認しても良かった。</li> <li>・担当が修学旅行など学校を不在にする行事が準備の期間と被ってしまったため準備が滞ったことがあった。業務の分担を前もって検討できればよかった。</li> <li>・バスが各企業を回るため依頼した時間から前後20分ほどの差があった。文書にはその旨を書いておいたが訪問先に伝わっていないところがあったため、バスの行程表ができた時点で早めに企業に連絡をしておくべきだった。</li> <li>・今年度から「職場体験学習」は連携入試のプレゼンやレポートのテーマではなくなり、湧別高校の教育課程とどのように関連しているのかも不明。また、3・9年総探部会に湧別高校担当者がいないことが大きな疑問であり、連携していないのでこの部会は廃止すべきだと思う。ただ、各校が今後も3・9学年で「職場体験学習」に取り組むのであれば、「職場体験学習」を実施する際に3校での連携や連絡調整は不可欠なため、中高一貫から切り離れた上で、現在のような進め方は残すべきだと思う。</li> </ul>
---

## 成果と課題・次年度計画◀ 特支部会 ▶

### 令和6年度 成果と課題

重点目標	成 果	課 題
<p>中高のつながりを意識した支援の在り方を検討する。</p> <p>①各校の実態を把握する。</p> <p>②高校入学後の生徒の変容を知る。</p> <p>③6年間を見通した支援の在り方を検討し、連携を深める。</p>	<p>①6月末の各校の支援生徒の実態について交流することができた。来年度も先生方の負担にならない程度に継続していく。</p> <p>②支援生徒の実態交流の際に、入学後の生徒の変容について触れることができた。来年度も、実態交流の際に合わせて触れたい。</p> <p>③不登校の子どもたちの実態交流をすることができた。親学級が主であるので、実際に支援する場面は少ないが、情報として上げることができた。</p>	<p>①交流した内容をもとに、どのような対応をしたらよいかを話し合い、生徒が抱える課題に対し、ともに向き合っていく必要がある。</p> <p>②支援学級には在籍していないが、授業や学校生活で支援が必要な生徒がいるので、実態交流の際に支援学級生徒以外の生徒に関しても、交流していく必要がある。今後引継の際に、詳しく高校側に情報を提供していく。</p>

### 令和7年度 年間計画

時期	実践項目の具体的内容	備考
4月	総会	・交流会のためのzoomのアカウントがほしいです。
6月	第1回交流会（zoom会議）	
12月	第2回交流会（zoom会議）	
2月	反省	

【R7 部会長校：上湧別学園】

## 成果と課題・次年度計画◀ 教科 ▶ ( 国語 )

### 令和6年度 成果と課題

重点目標	成 果	課 題
各校の交流を深め、地域の子どもたちの実態を把握し、国語力の伸長に努める。	① 乗り入れ授業 (実施日) 上湧別中：1/21(火) ゆうべつ学園：1/24(金) 芭露学園：1/29(水)	①日程調整を早め(11~12月)に行う。1月実施の方が日程調整がし易かった。
	② つなぎ学習 3校とも、2月中に実施(予定)	②特になし。
	③ 漢字検定実施 今年度は計三回の実施を行うことができた。申し込みをメールにて行い、受験人数の確認を開催校が円滑に行えた。 欠席の連絡を高校に伝えることができた。	③特になし。

### 令和7年度 年間計画

時期	実践項目の具体的内容	備考
4月	・計画	
1月	・中学2年生対象の乗り入れ授業	
2月	・中学3年生対象のつなぎ学習	
通年	・総会  ・年3回の漢字検定実施(予定) 1回目 6月13日(金) 2回目 10月25日(土) 3回目 1月31日(土)	資格取得 (割り当てられている支給金で漢検参考書の購入も検討中。)

【R7 部会長校：湧別高校】

\* 芭露→湧別高校→上湧別中→ゆうべつ学園

## 成果と課題・次年度計画《 教科 》（ 社会 ）

### 令和6年度 成果と課題

重点目標	成 果	課 題
○乗り入れ授業  ○地域教材の研修  ○授業交流	○年二回の中学生体験入学に振替。来年度も継続。  ○上湧別中学校の授業交流会に参加。	○今年度は未実施。次年度以降は実施していきたい。  ○個別な授業見学など教員間の交流を増やしたい。

### 令和7年度 年間計画

時期	実践項目の具体的内容	備考
随時	○地域教材の研修	○乗り入れ授業（体験入学）の中で、社会科とキャリア教育、総探等横断的な授業を実施。
9～10月	○乗り入れ授業	
随時	○授業交流	

【R7 部会長校：ゆうべつ学園】

## 成果と課題・次年度計画◀ 教科 ▶ ( 数学 )

### 令和6年度 成果と課題

重点目標	成 果	課 題
①各校の生徒の実態把握 →授業交流の実施	5月23日上湧別中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校を含めて、もっと気軽に授業交流ができればよい</li> <li>・4月の段階で、公開の時期を検討し、1人1回公開できるようにする。</li> </ul>
②数学への学習意欲向上 →数学検定の実施	第1回 6月22日 第2回 10月12日 第3回 2月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施会場を輪番で行なえたらよい</li> </ul> (実施時期が近づいたら、湧高から3校に会場登録の手順等の説明資料を準備する ⇒継続的な取組になるのでは)
③高校入学ギャップを減らし、進学への意欲向上 →つなぎ学習	リモートで実施(2月25日)	※①と②について 周知がうまくいかないことがあったので、管理職を交えて、確実に周知を行えるようにする。

### 令和7年度 年間計画

時期	実践項目の具体的内容	備考
4月	新年度計画立案	
7月	第1回数学検定	
11月	第2回数学検定	
2月	第3回数学検定	
	つなぎ学習	
	※授業交流	
	(各校の状況によりできるときに実施)	

【R7 部会長校：湧別高校】

## 成果と課題・次年度計画◀ 教科 ▶ ( 理科 )

### 令和6年度 成果と課題

重点目標	成 果	課 題
①学習の系統性の研究	①にれっ子池を保存している方が講師を行い、生物の同定を行ったり、水質調査の方法を教えてくださいました。	①他校で授業を行う場合は工夫が必要である。教員の見識を広げるという意味では良かったのかも知れない。
②中高生の授業交流	②高校生が企画した授業を、芭露学園・ゆうべつ学園・上湧別中学校の2年生が体験した。実験の説明や仕組みを解説してもらい、高校での理科の学習に興味を持つことができた。	②授業を行う高校生は、進路が決まっている生徒が担っているため、年によっては実施できない場合がある。

### 令和7年度 年間計画

時期	実践項目の具体的内容	備考
5月	年間の活動計画	
9月	第1回理科部会 授業公開 or 研修会 交流授業の日程・内容確認	<b>【体験授業】</b> 後期課程8年生 …授業体験や高校生との交流を、進路決定の材料とする。 高3…体験授業の企画・進行など主体的な活動を行う。
12月	高校生(3年)による体験授業 (後期課程8年生対象)	
1月	体験授業の反省と次年度の体験授業に向けて	
3月	年度反省	

【R7 部会長校：湧別高校】

★ローテーション ゆう学 ⇒ 芭学 ⇒ 湧高 ⇒ 上学

# 成果と課題・次年度計画 << 教科 >> ( 英語 )

## 令和6年度 成果と課題

重点目標	成 果	課 題
①各校の交流を深め、校種間の実態を把握する。	・上湧別中学校（柳川先生）が公開授業及び研修会を行い、各校の実態に関して情報交換を行った。2月には湧別高校進学予定者に向け、つなぎ学習を行った。	・授業交流実施日の早期決定。 ・つなぎ学習における ZOOM 形式での授業における生徒の実態把握を行う。
②生徒の英語力を把握し、伸長を図る。	・年3回の英語検定を実施することができた。受験者数も増え、町内全体で英語力の向上に努めることができた。	・教育委員会との連携も含め、検定申し込みの手順を改めて年度始めに確認する。 ・試験監督者を確保し、当日円滑に運営する。
③CAN-DO リストの試運用をし、使用感のすりあわせを行う。	・小学校を含めた CAN-DO リストを作成し、授業にあたることができた。	・CAN-DO リストの試運用を継続し、各項目の改善・改変にむけて情報収集を行う。

## 令和7年度 年間計画

時期	実践項目の具体的内容	備考
5月31日（土）	・ 実用英語技能検定（1回目） 土曜合同開催 2次試験は 7月 6日（日）	
10月 4日（土）	・ 実用英語技能検定（2回目） 土曜合同開催 2次試験は 11月 9日（日）	
1月24日（土）	・ 実用英語技能検定（3回目） 土曜合同開催 2次試験は 3月 1日（日）	
未定 2月下旬～3月上旬 通年 随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業交流</li> <li>・ つなぎ学習（湧別高校進学予定者）</li> <li>・ 中高一貫シラバスの情報収集と分析、内容検討</li> <li>・ 部会の実施</li> </ul> <p>* 研究授業の実施輪番</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                 2024年度（上湧別中学校） ⇒ 2025年度（湧別高校）                  ⇒ 2026年度（ゆうべつ学園） ⇒ 2027年度（芭露学園）             </div> <p>* 部長の輪番</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                 2024年度（湧別高校） ⇒ 2025年度（ゆうべつ学園）                  ⇒ 2026年度（ゆうべつ学園） ⇒ 2027年度（芭露学園）             </div>	

【R7 部会長校：ゆうべつ学園】



## 成果と課題・次年度計画《教科・部会》（ 音楽 ）

### 令和6年度 成果と課題

重点目標	成 果	課 題
・積極的に交流を行い、3校の音楽指導の技術向上と音楽環境を整えながら、豊かな生徒の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湧別高校の合唱審査に参加し、交流することができた。</li> <li>・上湧別中学校の合唱審査に参加し、交流することができた。</li> <li>・上湧別中学校の合唱指導に参加していただき、先生方と生徒の交流を通して合唱の良さを味わうことができた。</li> </ul>	・高校生と中学生による発表会ができると中高の連携に繋がるのではないかと検討。

### 令和7年度 年間計画

時期	実践項目の具体的内容	総探との関連
未定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校祭の合唱審査や講評</li> <li>・町のイベントでの吹奏楽合同演奏</li> <li>・中高一貫部活動クリニックの実施</li> </ul>	←中高連携

## 成果と課題・次年度計画◀ 養護 ▶

### 令和6年度 成果と課題

重点目標	成 果	課 題
①各校の生徒の実態を把握 ②高校入学後の生徒の変容と支援方法の検討 ③6年間を通じた支援の在り方を検討し、連携を深める ④事例検討を行い対応力の向上に努める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例検討を通して、支援方法の検討や情報交換を行い、生徒への対応力の向上に努めた。</li> <li>・湧別高校入学希望者の引継ぎを行い、支援方法について共有できた。また、前年度入学した生徒の入学後の様子についても交流できた。</li> <li>・保健室での体と心のケアに使用できる『小豆カイロ』を作成し、利用方法についても交流できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4校同時に連絡を取り合う手段がないため、部会の連絡を円滑に行うことが課題となった。(学園・中学校間はC4th、高校とは電話とFAX)</li> <li style="text-align: center;">↓</li> <li>次年度は、メールでの連絡が可能になる予定。 (各校養教にグーグルアカウントが支給される)</li> </ul>

### 令和7年度 年間計画

時期	実践項目の具体的内容	備考
4月	第1回養護部会（総会・年間計画）	
9月	第2回養護部会（執務交流）	
1月	第3回養護部会（湧別高校入学予定者引き継ぎ）	
2月	第4回養護部会（総会・中高一貫反省会議）	

【R7 部会長校：湧別高校】

## 6 各実践部会活動記録

# L-Gate 研修会

## 1 日時

令和6年12月11日(水)  
13:30~15:40(途中休憩10分)

## 2 場所

ゆうべつ学園(使用教室は未定。当日案内します。)

## 3 内容

「0からわかるL-Gate」  
L-Gateの内容・使い方など

## 4 参加者

- ◎【必須】町内中学校・義務教育学校後期課程・高等学校管理職1名
- ◎【必須】町内中学校・義務教育学校後期課程・高等学校ICT担当者  
(もしくは、それに代わる方)
- ◎【任意】町内小学校・義務教育学校前期課程希望者

## 5 申込

12月5日(火)までに下記QRコードから申し込み下さい。



この文書における問い合わせ先  
湧別町中高一貫教育推進協議会  
教育課程部会 部長 豊原隆之  
勤務先：湧別町立ゆうべつ学園  
01596-5-2410

# iPad研修会

## 1 日時

### 【第1回】

令和6年12月25日(水) 10:30~12:00

### 【第2回】

令和7年 1月14日(水) 13:30~15:00

## 2 場所

各自(オンライン)

## 3 内容

【第1回】iPad の魅力再発見。

iPad の便利な使い方

【第2回】先生方よりアンケートを取り、内容を構成するので検討中

## 4 参加者

◎町内学校職員希望者

## 5 申込

11月29日(金)までに下記 QR コードから申し込み下さい。



参加希望の方は、以下のアドレスから研修内容についてのアンケートにお答えください。(11月中)

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeDp33cm1K5qp-kQHN4Af2l6liK87dkTX5qdo8C3bmRNuo\\_Q/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeDp33cm1K5qp-kQHN4Af2l6liK87dkTX5qdo8C3bmRNuo_Q/viewform)

この文書における問い合わせ先

湧別町中高一貫教育推進協議会

教育課程部会 部長 豊原隆之

勤務先：湧別町立ゆうべつ学園

01596-5-2410

令和6年6月25日

中高一貫特活生徒指導部会

## 令和6年度 中高一貫教育合同講演会開催要項

- 1 目的 講話を通して、夢や目標に向かって努力することや実現するために必要なことなどについて学ぶ。
- 2 日時 令和6年7月12日（金） 10:00～11:30（うち10分程度の質疑応答）
- 3 会場 湧別町文化センターさざなみ 大ホール  
〒099-6404 紋別郡湧別町栄町 219 番地の1  
☎01586-5-3189
- 4 講師 折茂 武彦氏（レバンガ北海道代表取締役）  
関野 剛平選手（レバンガ北海道）  
「夢を叶えるために」

- 5 参加対象 湧別町の中学生、高校生及び教職員

参加予定数	生徒数	職員数	計
湧別高校	99	15	114
上湧別中学校	67	19	86
ゆうべつ学園（後期）	56	16	72
芭露学園（後期）	8	9	17
計	230	59	289

- 6 当日の日程（移動については、各校ごとに）

9:30頃 学校出発 移動手段：バス  
9:50頃 さざ波到着（会場着席完了）  
10:00 講師紹介（湧別高校代表生徒）・講演開始  
10:05 関野剛平選手 講演（トークショー形式）  
10:25 休憩（舞台転換）  
10:30 折茂武彦氏 講演  
11:20 質疑応答（マイク 芭露学園代表生徒）  
11:30 謝 辞（上湧別中学校代表生徒）  
11:35 花束贈呈（ゆうべつ学園代表生徒）  
11:40 講師退場  
11:45 生徒退場（退場順は、芭学 → 湧高 → 上中 → ゆ学 とする。）  
12:05頃 学校帰着→アンケート・感想文記入

- 7 連絡・注意事項等

- ① 携帯電話は電源を切るか、マナーモードにしておく。
- ② 移動の際は事故に気をつけ、交通の迷惑にならないようにする。
- ③ 写真撮影は引率の教員が行うのを認める。（生徒の撮影はNG）

8 役割分担

年度		6年	5年	4年	3年	元年	備考
生徒	司会※湧高固定	湧校	湧高	湧高	湧高	湧高	講師紹介
	謝辞	上中	ゆ学	芭学	上中	湧中	
	花束贈呈	ゆ学	芭学	上中	湧中	芭学	※1 当日会場に届くように手配
	質問マイク	芭学	上中	湧中	芭学	上中	
担当者	横看板・画鋏		上中	上中	上中	上中	
	座席割		芭学	芭学	湧中	湧中	
	パンフ・アンケート		ゆ学	湧中	芭学	芭学	
	花束注文(税込 5,000 円×2名)	ゆ学	上中	上中	湧中	芭学	当日会場へ配送を依頼 請求書

※1 花束発注先 石田造花店 湧別町緑町 01586-5-2495  
 予算 10,000 円 請求書は湧高、陶山事務長さんへ

- 9 予算 講演料・旅費……………220,000 円  
 花束代 (2 人分) …… 10,000 円  
バス借り上げ代…………… 58,300 円  
 合計 288,300 円

- 10 その他  
 ・質問者を各校 1 名程度、事前に決めておく

※前日準備はありません。

令和6年9月2日

## 令和6年度 中高一貫教育推進委員会 「部活動クリニック」について

令和6年度の湧別地区中高一貫教育推進委員会の「部活動クリニック」では、運動部に所属する中高生を対象とした基礎的なトレーニングに関する講習会を下記の日程で実施します。

つきましては、下記の確認票に記入いただき、FAXにて送信してください。お忙しいところ恐縮ですが、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 記

日時 令和6年11月2日(土) 午前10:00~11:30 (およそ90分間)  
場所 湧別高校 体育館  
内容 基礎的なトレーニングに関する講習会  
講師 オホーツクAC代表 金子 航太 様  
持ち物 上靴、飲み物、汗拭きタオル、着替え(必要に応じて)  
その他 ご不明な点がありましたら、芭露学園瀬川(6-2463)までご連絡ください

**出欠確認票** ※部活に所属していない生徒でも保護者や担任、顧問等の付き添いがあれば参加できます。その場合、下の欄には参加者氏名と付添者氏名をお書きください。

学校名	部活名(参加者氏名)	顧問名(付添者氏名)
-----	------------	------------

部活動クリニックに

参加します

参加しません

(参加する場合) 参加人数

	参加人数	そのうち移動にバスを利用する生徒
生徒(男子)		
生徒(女子)		
顧問		
計		

※バスは各所属中学校(義務教育学校)から湧別高校までの運行です。

記入が終わりましたら、芭露学園 教頭 瀬川まで送信してください(鑑不要 FAX 6-2401)

9月13日(金)までに提出をお願いします

令和6年12月13日  
湧別高等学校 生徒会担当

## 『令和6年度中高一貫リーダー研修会実施要項』

### 1 目的

- (1) 生徒会同士の交流を通し、他校の実践を学ぶ。
- (2) 生徒会執行部の仕事について学ぶ。
- (3) コミュニケーション能力を向上させる。

### 2 日時

令和7年1月25日(土) 9:30~11:35 \*予備日1月25日(土)

### 3 場所

湧別高等学校 会議室(1階)

### 4 対象

湧別高等学校、ゆうべつ学園後期課程、上湧別中学校、芭露学園後期課程の生徒会執行部および生徒会顧問

### 5 時程

- 9:15 受付開始
- 9:30 開会式
- 9:40 アイスブレイク
- 9:50 学校紹介(各校5分程度で主な行事、生徒会執行部の動きを説明する)
- 10:10 講座1「行事の準備」
- 10:20 講座2「生徒を動かすためには」
- 10:30 休憩
- 10:40 講座3「行事の司会を想定したロールプレイ」
- 11:15 講評&振り返り
- 11:30 閉会式
- 11:35 解散

### 6 主な活動内容

#### (1) 閉会式(司会進行 会場校担当者)

- ①開会の言葉(会場校担当者)
- ②湧別高校  
生徒会長あいさつ
- ③日程の説明(会場校担当者)
- ④閉会の言葉(会場校担当者)

#### (2) アイスブレイク

- ①各校生徒混合のグループ(3グループを予定)を作ります。
- ②所属するグループの生徒どうして自己紹介の場を設けます。具体的な内容は検討中

です。

③ここでのグループが講座2、3のグループになります。

(3) 学校紹介(発表:3分程度、質疑2分程度)

①発表順:芭露学園→ゆうべつ学園→上湧別中→湧別高校)

②タブレットを使って、事前に作成してください。

③動画や写真を活用し、文字だけ・口頭だけの紹介にならないようお願いします。

④内容は「主な行事の紹介」と「それに関わる生徒会執行部の動き」の2つとします。

(4) 講座1「行事の準備」

①講師は湧別高校生徒会が行います。

②行事を行うにあたり、生徒会はどのような仕事をするのかについて話します。

(5) 講座2「そのほかの生徒を動かすためには」

①講師は湧別高校生徒会担当及び生徒会が担当します。

②行事の際に、ほかの生徒が円滑に動けるように生徒会としてどのような動きが必要になるかについて話します。

(6) 講座3「行事の司会を想定したロールプレイ」

①学校祭での生徒会企画を想定し、小規模な生徒会企画を実践します。

②アイスブレイクのグループで、司会進行役、参加生徒役に分かれます。

③企画内容は湧別高校生徒会が考案します。

④生徒会企画では全ての仕事が生徒会に一任されます。その際の対応や動きなどを実践します。

(7) 講評・振り返り

①引率の各先生方から短く講評・評価を頂きます。

②各生徒で振り返りを行います。プリントは会場校で用意します。

(8) 閉会式

①開会の言葉(会場校担当者)

②湧別高校生徒会長の話

③連絡(会場校担当者)

④閉会の言葉(会場校担当者)

7 その他

(1) 当日、生徒は制服で参加して下さい。

(2) 当日の参加予定人数(生徒・引率)をお知らせ下さい。

(3) 生徒、引率ともにタブレットをご持参下さい。

(4) 各学校から湧別高校までのバス配車時間は、後日連絡します。

(5) 問い合わせは 湧別高校生徒会担当 対馬 李玖 TEL:01586-2-2419(学校)までお願いします。

湧別町の地域と文化を交流する

湧別地区

中高一貫教育推進委員会

令和6年1月 日 発行

# 総探しレポート

No. 1 総探部会

令和6年度

## ～上湧別中学校の取り組み～

### ゆうべつ学

「ゆうべつ学」に取り組むのは今年が初年度になります。湧別に関すること(人、自然、産業、歴史、気候、生き物、海)から自分で興味がある分野について1年間じっくりと調べていきます。

#### 1、ゆうべつ学のスタート

今年から「ゆうべつ学」をスタートするにあたり、まずはJRY館長の中島一之さんに話を聞きました。「ゆうべつ学」の魅力と意義を十分に理解した上で、生徒はテーマを設定していきます。



#### 2、前期フィールドワーク

自分のテーマをもとに、ネット等で探求してきたことを、実際に現地に行き観察したり関係者の方から話を聞いたりします。フィールドワークは前期と後期の2回実施されます。



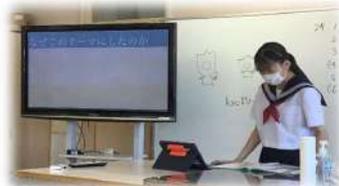
フィールドワークの様子<チューリップの湯>

令和6年度 ゆうべつ学 学習プリント No. 8  
～フィールドワークで学んだ事～ 記入例

グループ: 湧別の交通機関(鉄道)
目的地: 北湧駅跡地(現ジェリイ)
メンバー ひなたまひるい せうべつたろう かみゆうべつゆうこ 平平平平、湧別太郎、上湧別裕子
上湧別中学校出身(9:00) 移動手段(徒歩・バス) (自転車)
目的地(北湧駅 9:30)到着 — 上湧別駅到着 目的探訪になった事(探訪していた方)探訪先などがあれば記入 (田代 高瀬 北澤)さま 9:35 北湧駅跡地で会合した。線路跡を少し歩き、かつてのホームも確認できた。探訪目的のトロッコ、休憩場所となっていた貨車の残骸の場所も発見していたのだ。 10:05 現場はよほど安全なところに「ジェリイ」が建っていた。 10:20 「ジェリイ」の会談室をお借りして、各自探訪した質問に答えていただいた。 訪れた事・新たな疑問・更に深めたいと感じた事 今は廃線になってより年が経過し、周りの様子も大きく変わったことがわかった。廃線になった場所も知ることができた。事故、衝突などあったり、自動車で突っ込んでいた場所が他の場所だったことに驚いた。今後は、更に疑問を深めたい。他の駅と当時の写真を見たいと思った。また、ここで汽車のあったことのある人にも話を聞いてみたいと思った。今日、目的地に行く途中の家の在り様が線路の跡地に似ているような気がした。聞いた話では、かつて、この駅には汽車の枕木の敷道を敷いたらしい。他本玉、と呼ばれる人がいたらしい。駅跡跡三軒きんといらうらしい。
訪れたこと(探訪先以外の場所) (「ポイント」寄り替えの跡地・ジェリイの自転車専用アーケード)
訪れたもの・聞いたこと ポイント寄り替えは、列車が通り過ぎた後に道沿線の汽車が通過するためにおこなうらしい。この先の橋脚には、大きな観音様とダンテの像もあったらしい。(今はない)アーケードの柱は線路のレールを走らせているようだ。 訪れたいと感じた事 線路のあとには、バスに切り替わった。しかし、その後、マイカーが増加、バスも赤字路線らしい。

### 3、中間発表会

前期のまとめとして「ゆうべつ学」の中間発表会が9月に行われました。生徒それぞれがまとめたものをkeynoteで作成し、一人7分程度でプレゼンテーションしました。



<前期中間発表のポイント>

- ①なぜこのテーマに決めたのか(理由について)
- ②探究活動やフィールドワークでわかったこと
- ③感想と後期に向けて(調べた感想・今後の学習など)

### 4、後期フィールドワーク

後期は探求してきたことをさらに深掘りしていきます。疑問として残っていることやさらなる詳細な説明により理解を深めました。生徒はみな真剣に話を聞いていました。



### 5、「ゆうべつ学」発表会

フィールドワークの様子 <湧別町図書館>

1年間のまとめとして「ゆうべつ学」のまとめ発表会が12月に行われました。お忙しい中でたくさんの地域の方にお越しいただきました。生徒達はお互いの発表を聞いて湧別の知らなかったところが発見でき新たな気付きに繋がったようです。



#### 番外編 「新篠津中学校との交流」

全員が参加したわけではありませんが、本校の1年生が「ゆうべつ学」で探求してきたことを新篠津中学校の生徒に披露しました。お互いに総合的な学習の時間で取り組んできたことを交流する学習はここ数年続いています。



オリエンテーション

講演会

課題設定

前期フィールドワーク

中間発表会

後期フィールドワーク

まとめ発表会

湧別町の地域と文化を交流する

湧別地区

中高一貫教育推進委員会

令和6年1月 日 発行

# 総探レポート

No. 2 総探部会

令和6年度

## ～芭露学園の取り組み～

### 地域学習

7年生と8年生では地域学習に取り組んでいます。7年生は「芭露地区」について、そして8年生では範囲を広げ、オホーツクについて学びます。オホーツクは大きな面積を占める地域なので、身近だけと知らないことがたくさんあります。

### 1、地元、「芭露地区」「オホーツク」を学ぶ

芭露学園7～8年生では地元芭露やオホーツクの歴史遺産・産業遺産について学ぶ学習に取り組んでいます。学年が上がるにつれ、探求する地域を徐々に広げていきます。扱っていく資産については右記のようなものがあります。

産業・・・農業、水産業、観光業  
農業・・・酪農、畑作  
水産業・・・カキ、ホタテ  
観光業・・・カーリング、流水館、(遺跡)  
歴史・・・遺跡等

### 2、オホーツク学 流水館訪問



流水館での様子

6月に流水館を訪問しました。とっても身近な流水ですが、流水ができる仕組みや流水の下で遅く生きる生き物たちについて知らないことがたくさんありました。特に「流水世界体感」では光と音の幻想的な空間を体験することができてみんな大満足しました。

### 3、オホーツク学 シツツナイ遺跡訪問

7月には湧別町内のシツツナイ遺跡を探索しました。JRY学芸員である林さんにシツツナイ遺跡を案内していただきました。現地を訪問することで先人の暮らしや地元の成り立ちについて学びを深めました。



その他にも「遺跡の森」や「網走監獄」「土器づくり体験」など多くのオホーツク資産に触れました。知らないことがたくさんありました。



説明を聞いている様子



## 4、9年生のまとめ学習「プレゼンテーション」

芭露学園9年生の地域学習発表は「湧別の将来を考察する」といったテーマでプレゼンテーションを行います。7年生～9年生まで学習してきたことを活かして制作していきます。また9年生ではさらに範囲を広げ、北海道地方の歴史資産、産業遺産の学習にも取り組んでいきます。

「私が湧別町の町長だったら」

「私が湧別町の町長だったら」を題材にしたプレゼンテーションを行います。

- ・湧別高校を受験する生徒は、連携入試の課題となる。
- ・校内で発表する時間があります。発表時間5分

「町長になったら町民のためにこんなことをやります！」

と、考えてみてください。

①現状の把握 ②提案 ③期待効果 ④まとめ

- ・どうしてそのようにしたいのか、願いなどを書くことより相手に訴えることができるはず。
- ・なぜそれが必要かを訴える。共感があれば、人は耳を傾けません。
- ・作成方法はkeynote もしくは power point (高校との相互性を図るため)
- ・上記の資料とは別に、発表用の原稿が必要となります。

1	オリエンテーション 概要説明 どのようなことをしたいか考える
2～8	プレゼンテーション 資料作成&練習
9～11	プレゼンテーション リハーサル
12	プレゼンテーション 本番

例えば、イオンを誘致します。北見や紋別に買い物に行かなくてすむ。(公約)

- ・高齢の方が買い物に行くのが大変。(現状)
- ・町内を無料の循環バスで乗客を乗せるようにする。(具体的な方策)
- ・住みやすい町になれば人口が増える。(期待される効果)
- ・イオンでの雇用が増える。(期待される効果)
- ・税金が入ってくるので町が潤う。(期待される効果)

プレゼンテーション資料例

## 5、9年生の取り組み

### ～JRY 訪問、上級学校訪問、職場体験学習～

9年生はその他にも様々な機会でも「地元の理解を深める」「将来を考える」といったテーマで多くの学びを取り入れています。特にキャリア学習である上級学校訪問や職場体験学習は、生徒自身の進路を真剣に考える上で貴重な経験でした。



JRY 訪問



上級学校訪問



職場体験学習

### 前期からの取り組みとの接続

芭露学園では前期児童も生活科の授業を活かして地域を知る様々な学習が行われています。フィールドワークや生活総合発表会もあり、後期への接続を意識した取り組みが導入されています。

芭露学園の探究学習のイメージ

7年生→芭露地区の歴史資産、産業の学び

8年生→オホーツク地区の歴史資産、産業資産の学び(オホーツク学)

9年生→北海道地方の歴史資産、産業資産の学び(北海道学)



生活総合発表会



フィールドワーク

湧別町の地域と文化を交流する  
**総探しレポート**  
 湧別地区 中高一貫教育推進委員会 令和6年1月 日 発行  
 No. 3 総探部会

令和6年度 ~北海道湧別高校の取り組み~

**未来計画**

湧別高校では「未来計画」に取り組んでいます。自らが興味・関心をもつテーマを自由に設定し、生徒自身の力で研究し課題解決していきます。また地域の方にも足をお運びいただき、未来計画を通して地域との繋がりを深めています。

**1、課題の設定と講義による学び**

「未来計画」をスタートするにあたり、まずは趣旨説明が行われ、また講義により「問いの立て方」の理解を促進していきます。生徒自身の創造力と発想力を高め、発問に対する意欲の醸成を狙います。

~大湊亮輔氏による講演~



**2、探究サポーターを交えての情報収集**

年間5時間程度、町内の中学校や地元の役場、地元企業の方々に探求サポーターとしてお越しいただき、生徒の探究活動の様子を直接見て評価いただいています。サポーターの皆さんには担当教室を割り当てさせていただき、生徒からの質問にお答えいただくなどご協力いただきました。下記は活動の様子



**3、中間発表会、前期振り返り**

中間報告会では、発表ではなく交流会のような形式で、進捗の確認や情報共有など話し合いを主体とするものになりました。夏季休業を活用しながら企画の改善を図っていきます。

気軽に質問し、意見交換する雰囲気づくりが大切



発表の様子

**4、校内活動報告会**

1年間のまとめとして「未来計画」の校内まとめ発表会が12月に行われました。探究活動のレポート作成に試行錯誤してきた成果を互いに交流することで未来計画への理解を深めました。



舞台上で発表する様子

**5、外部活動報告会**

地域の方向けの活動報告会が体育館にて盛大に行われました。探究活動を支援いただいた皆さんをお迎えして、それぞれのゼミを代表する生徒がしっかりと発表することができました。お越しいただいた皆さんから多大なる賛辞と励ましのお言葉をいただきました。生徒の大きな自信に繋がったようです。



R6未来計画年間進捗表(合計35時間)

項目	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
未来計画① 趣旨説明・課題設定	1時間													1時間
未来計画② 講義「問いの立て方」	2時間													2時間
未来計画③ データの見方	1時間													1時間
未来計画④ 情報収集・企画詳細案作成・中間報告準備														合計7時間
未来計画⑤ 中間報告・前期振り返り														2時間
未来計画⑥ 企画案決定・改善														合計2時間
未来計画⑦ プロジェクト実行														合計11時間
未来計画⑧ 活動報告準備														合計4時間
未来計画⑨ 校外向け活動報告会														2時間
未来計画⑩ 校内活動報告会														2時間
未来計画⑪ 年間振り返り														1時間
<b>合計</b>	<b>35時間</b>													<b>35時間</b>

湧別高校「未来計画」年間進行の取り組み例

番外編 「冬湧楽」

今年度から始まり、生徒が力を入れている冬湧楽、地域の子どもや大人がみんな楽しめるようなアイデアが随所に盛り込まれています。



10 未来計画における評価ルーブリック

	S	A	B	C
表現する力	・自分の考えや意見がより効果的に伝わるよう、相手に合わせた工夫を行い、表現することができる。	・自分の考えや意見を積極的に相手に伝えることができる。	・自分の考えや意見を相手に伝えることができる。	・自分の考えや意見を相手に伝えられない。
思考する力	・多角的な意見を積極的に選択しながら、自分の知識・経験を振り返り合わせて仮説を立てることができる。	・多角的な意見を取り入れながら、仮説を立てることができる。	・物事について、何かしらの仮説を立てることができる。	・物事について、仮説を立てることができない。
協調する力	・言動や振る舞いに注意を払いながら、他者と有意義かつ良好な協力関係を築いて活動ができる。	・積極的に他者と協力しながら、活動できる。	・場に合わせた行動をとることができる。	・他者を受け入れず、自己中心的に物事を判断している。
振り返る力	・前回の振り返りを踏まえた活動を行い、今回の活動を具体的に分析し、次回への見通しを立てられる。	・自分の活動を具体的に分析し、次回の活動への見通しを立てられる。	・自分の活動について具体的に分析することができる。	・自分の活動やその感想まで詳しく述べられない。

未来計画の評価→ルーブリックに基づいて評価し、自己評価に対してフィードバックする工夫を施している

湧別町の地域と文化を交流する

湧別地区

中高一貫教育推進委員会

令和6年1月 日 発行

# 総探しレポート

No. 4 総探部会

令和6年度

## ～ゆうべつ学園の取り組み～

### ゆうべつ学

「ゆうべつ学」に取り組むのは今年で3年目に なります。「ゆうべつ」をよく知ることで自分の生 方に繋がる「何か」を掴むことがわらいます。異 学年での学び合いなど、様々な学習形態と通して人 間づくりの基礎を培っていきます。

### 1、テーマの設定 ～ウェビングマップづくり～

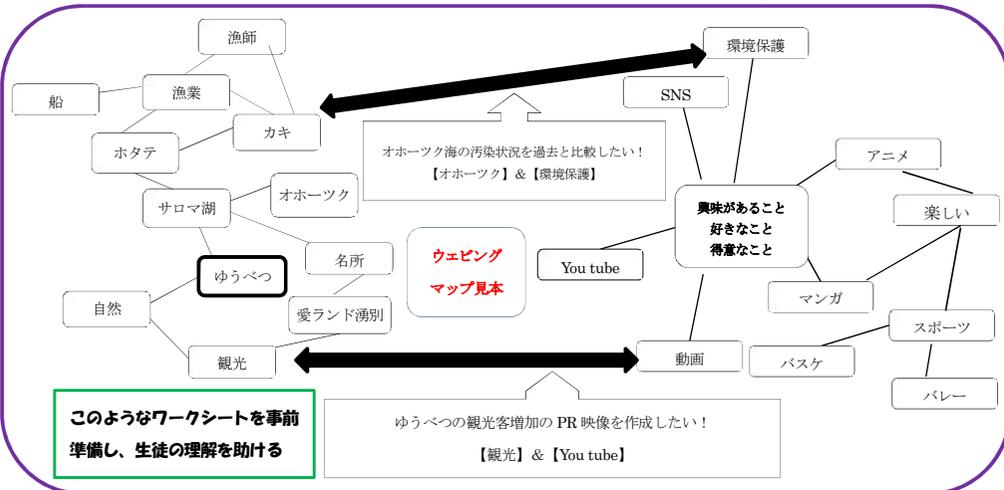
まずはオリエンテーションで「ゆうべつ学」に取り組む目的や内 容の理解を深めていきます。さらにウェビングマップを作成すること により自分を取り巻く「ゆうべつ」の魅力を深掘りしていきます。



オリエンテーションの様子



ウェビングマップ作成の様子



このようなワークシートを事前 準備し、生徒の理解を助ける

ゆうべつの観光客増加のPR映像を作成したい! 【観光】&【You tube】

上記のようなウェビングマップを参考に 『ゆうべつ』と聞いて連想させるキーワードを考える 『興味がある・好きだ・得意』のキーワードをイメージし、課題づくりのヒントを探す作業を行っていく

### 2、7月フィールドワーク

自分のテーマをもとに、ネット等で探 求したことを、実際に現地に行き観察し たり関係者の方から話を聞いたりして理 解を深めるのがフィールドワークです。 ゆうべつ学園では7月と11月の2回に 分けて実施されます。



五鹿山にて

商工会にて



チューリップの湯にて



シブツナイ遺跡にて



出発前 事前指導 の様子



遺跡試堀調査(中小)

### 3、11月フィールドワーク

後期のフィールドワークは希望制で、さらに 学びを深めたい生徒が参加します。講師の方にお越しいただき講演していただくなど、生徒の 進捗により取り組み内容が異なります。

### 4、日常の探究活動

年間を通して2回のフィールドワ ークを挟み、年度末に実施されるまとめ発 表会に向けて、インターネットを活用し ながら学びを深めていきます。ペアやグ ループになることで「学び合い」が促進 し、お互いに工夫したレポートが出来上 がっていきます。



日常の探究活動の様子

令和6年度 ゆうべつ学 学習プリント No. 15

～年度末発表会に向けて①～

### 5、ゆうべつ学フェスティバル

いよいよまとめ発表会です。今年度から 中間発表会をなくして、1月に行われま じめ発表会の1本にしました。それぞれの探 求レポートには生徒自身の知慮と工夫が 凝縮されています。地域の方や先生方にも ご協力いただいたので感謝の気持ちを持 ちながら発表します。下記は昨年度の発表 の様子です。

#### 探究レポート作成について

1月の年度末発表会(ゆうべつ学フェスティバル)に向けて、探究まとめの段階に入っ ている人も多いため、特に9年生は、大抵の期間は12月中に完成させてください。 発表会では、keynoteを使って発表する人(グループ)がほとんどかと思いますが、それが完 成したら、探究レポートの作成をお願いします。前年度まではレポートは作成していません でしたが、今年度の7-9年生がどのようなテーマで取り組み、どのような手法で探究を深め、 そしてどのように探究をまとめたいかを文書で保存したほうが、次年度以降にゆうべつ学に取り 組む人が参考にしやすいと考えました。手順が煩雑ですが、冬休みなどもうまく使って、レポ ートを完成させてください。

探究レポートのデータ 「ファイル名をプレビューできませんでした」と表示されるので、「ダウンロード」をタップします。画面が変わるので、「Pages」で開く」をタップする

レポートの文書が表示されるので、文字を入力する前に文書名を発表者の 名前に変え、「ファイル」に保存」してから入力してください。

#### ゆうべつ学フェスティバルについて

1. 日時 令和7年1月30日(木) 1校時～4校時(8:40～12:30)
2. 場所 7年教室、8年教室、9年教室、多目的室1、多目的室2
3. 発表者 7年生グループ、8年生グループ、9年生26個人、合計40個人・グループ
4. 発表者・観覧者の割り当て 別紙シフト表のとおり  
9年生が全員個人発表となり、主体の発表数が増えたため、今年度から発表と観覧割 り当ての回数が3回ずつから2回ずつに減りました。

今後の『ゆうべつ学』の予定(今後の状況に応じて変更の可能性がありますが)

11月28日(木)、12月6日(金)、12月23日(月)、1月28日(火)  
ゆうべつ学(探究活動、探究のまとめ、発表会に向けての準備)

11月28日(木) ゆうべつ学(町会副町政推進部まちづくり担当長講話  
(多目的室2) …9年組室)

1月30日(木) 学年末発表会(ゆうべつ学フェスティバル)前期課程・後期課程  
2月3日(日) ゆうべつ学リクエスト発表会



令和7年1月23日

北海道湧別高等学校長 様

湧別地区中高一貫教育推進協議会委員長

(湧別町教育委員会教育長)

阿 部 勉

中高一貫教育国語部会における湧別町立芭露学園第8学年に関する乗入れ授業について (依頼)

このことにつきまして、下記により第8学年国語科への乗入れ授業を実施しますので、貴校の乗入れ授業担当職員の派遣について、ご高配を賜りますようお願いいたします。

節柄ご多用のことと存じますが、よろしくお願いいたします。

記

- 1 日 時 令和7年1月29日(水) 10:25～11:15 (3校時)
- 2 場 所 湧別町立芭露学園 2F 8年生教室
- 3 内 容 第8学年に対する国語科乗入れ授業の実施

(お問い合わせ先) 国語科担当

湧別町立芭露学園 (後期課程)

教諭 三河 修一

電話 6-2463

FAX 6-2401

令和7年1月8日

北海道湧別高等学校長

今野博友様

湧別地区中高一貫教育推進協議会委員長

(湧別町教育委員会教育長)

阿部 勉

中高一貫乗り入れ授業の実施について (お願い)

新春の候、貴職におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、下記の日程にて中高一貫乗り入れ授業を実施致しますので、時節柄ご多用のことと存じますが、関係職員の派遣についてご高配を賜りますようお願いいたします。

記

- 1 日 時 令和7年1月21日 (火) 10:45～11:35 (3校時)
- 2 場 所 上湧別中学校 2年生教室 (新校舎8年生教室)
- 3 対象生徒 2年生19名
- 4 派遣いただきたい職員 国語科 對馬 李玖 教諭
- 5 内 容 高等学校の国語科の授業体験

以上

(お問い合わせ先)

湧別町立上湧別中学校

教諭 花田 和也 (国語科)

電話 2-2095

令和7年1月23日

北海道湧別高等学校

校長 今野博友様

湧別地区中高一貫教育推進協議会委員長  
(湧別町教育委員会教育長)

阿部 勉

中高一貫教育推進事業に係る講師の派遣について（依頼）

厳寒の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動へのご理解・ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

このたび、下記のとおり、中高一貫推進事業に係る乗入授業を実施します。

つきましては、御多忙中とは存じますが、貴職員 對馬 李玖様を講師として派遣していただきますよう御配慮をお願いいたします。

1 事業名

湧別町中高一貫推進事業に係る乗入授業（9年生 国語）

2 日時

令和7年1月24日(金) 10時40分から11時30分まで

3 場所

ゆうべつ学園 9年生教室

4 派遣依頼講師

對馬 李玖様

5 対象者

9学年26名

担当：斎藤 帆貴  
(ゆうべつ学園 国語科)  
電話：01586-5-2410

# 芭露地区の自然「にれっ子池生物観察」学習について

令和6年8月1日

研修部 総合的な学習の時間 係 平岡、三澤

## 1. ねらい

ゆうべつアウトドアクラブYU-PALのご協力のもと、芭露地区旧芭露小学校敷地内「にれっ子池」に住む生物観察を通して、身近な芭露地区の自然や生物の役割を理解する。また、五感を活用し観察力や想像力を養う。

## 2. 概要

- (1) 日 時・・・令和6年9月5日（木） 5～6校時  
(5, 6年総合的な学習の時間2コマでカウント)
- (2) 場 所・・・旧芭露小学校敷地内「にれっ子池」 ※雨天時は芭露学園 理科室で実施
- (3) 講 師・・・ゆうべつアウトドアクラブYU-PAL 絹張 洋史 様
- (4) 参加対象・・・前期課程5年4名、6年4名…8名、教員（平岡、河端、宮下、猪股）4名  
※ + 湧別町内 学推協理科サークルの教員も参加予定（最大6名）

## 3. タイムテーブル

内 容	時 間		担 当
	時間帯	時間	
芭露学園→旧芭露小（にれっ子池） ※ 徒歩	13:05～13:20	15分	
開会式、スケジュール説明、スタッフ紹介	13:20～13:30	10分	学 園
自然観察学習	13:30～14:30	60分	YU-PAL
閉会式、お礼のあいさつ	14:30～14:35	5分	学 園
旧芭露小（にれっ子池）→芭露学園 ※ 徒歩	14:35～14:50	15分	
[各教室に戻って] 感想アンケート	14:50～15:00	10分	

※ 感想等（アンケート）は学校に戻ってから教室で行う。

## 4. プログラムの内容

芭露地区の自然「にれっ子池」に住んでいる生物を観察してみよう

## 5. 雨天時対応

・雨天時は、芭露学園 理科室で対応できるよう、内容を変更して行う。

## 6. 準備

- ・芭露学園（学校）：児童用名札
- ・芭露学園（児童）：筆記用具、帽子、服装は長袖・長ズボンが無難、虫よけスプレーなど

令和 6 年 8 月 6 日

北海道湧別高等学校 学校長 様

湧別町中高一貫教育推進委員会  
会長 阿部 勉  
英語部会  
部長 澤 龍一

湧別町中高一貫学校教育推進委員会「英語部会」授業交流会開催について（依頼）

このことについて下記の通り開催することとなりましたので、貴校職員の出席につきまして

記

- 1 日 時 令和 6 年 9 月 2 日（月）  
（ 13 時 40 分より 15 時 25 分終了予定）
- 2 場 所 ゆうべつ学園 授業参観 5年生教室（研究協議は多目室）
- 3 参 加 者 合田 知絵美 澤 龍一
- 4 公開授業 授業者 山口 幸一  
Junior Sunshine5 Lesson4(6/8)
- 5 その他 規定に基づき旅費が支給されます、自校で必要な手続きを済ませてください

令和6年10月2日

湧別町中高一貫音楽部会  
岩本 莉奈 様

湧別町学校教育推進協議会長  
綾 部 雅 一  
音楽サークル部員  
樋 口 琴 音

学推協音楽サークル部会の開催について

秋涼の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、学推協音楽サークル部会を下記日程で行います。

つきましては、貴校職員の出席につきまして、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 令和6年10月16日(水) 8:45 ~ 9:35
- 2 場 所 湧別町立上湧別中学校
- 3 内 容 合唱発表会に向けた合唱指導  
授業者 樋口 琴音
- 4 参加予定者 北海道湧別高等学校 岩本 莉奈 教諭

この件に関するお問い合わせ先

中高一貫音楽部会 会員

湧別町立上湧別中学校 教諭 樋口 琴音

電話 (01586)2-2095

FAX (01586)2-2095

令和6年10月10日

北海道湧別高等学校

校長 今野博友様

湧別町立上湧別中学校長

綾部雅一

令和6年度 上湧別中学校 合唱発表会 講評の派遣のお願い

秋冷の候、貴職におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本校は「合唱発表会」を下記の日程で実施することとなりました。

つきましては合唱発表会の講評をしていただきたく、貴校 岩元 莉奈 教諭の派遣についてご高配を賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

- 1 日時 令和6年10月19日(土)  
13時05分から13時30分まで  
(全校合唱は14時頃を予定しています。)
- 2 場所 湧別町立上湧別中学校 第1体育館
- 3 内容 合唱発表会 講評
- 4 その他 打ち合わせを12時50分より会議室にて行います。

令和6年8月22日

関係校養護部会部員 様

湧別地区中高一貫教育推進協議会委員長

(湧別町教育委員会教育長)

阿 部 勉

中高一貫教育 養護部会の開催について (お願い)

このことにつき、下記の日程にて開催いたしますので、時節柄ご多用のことと存じますが、出席くださいますようお願いいたします。

記

- 1 日 時 令和6年9月10日(火) 15:00～
- 2 場 所 湧別高等学校 会議室
- 3 内 容
  - ・執務に関わる書籍等の交流
  - ・事例検討

以上

お問い合わせ先

中高一貫教育 養護部会 部長

湧別町立芭露学園 養護教諭 森 こそえ

電話 6-2463

FAX 6-2401

令和7年1月17日

関係校養護部会部員 様

湧別地区中高一貫教育推進協議会委員長

(湧別町教育委員会教育長)

阿 部 勉

中高一貫教育 養護部会の開催について (お願い)

このことにつき、下記の日程にて開催いたしますので、時節柄ご多用のことと存じますが、出席くださいますようお願いいたします。

記

1 日 時 令和7年1月28日(火) 15:00～

2 場 所 湧別高等学校 会議室

3 内 容 ・湧別高校入学希望者についての引き継ぎ

※中学校・学園の養護教諭の方は、別紙「湧別高校入学希望者引継ぎ記入用紙」に  
必要事項を記入の上、ご持参ください。

・保健室での処置に使える小豆カイロの作成

※裁縫道具をご持参ください。

・執務交流

以上

お問い合わせ先

中高一貫教育 養護部会 部長

湧別町立芭露学園 養護教諭 森 こそえ

電話 6-2463

FAX 6-2401

## 7 中高一貫だより

# 地域と密着・活気に満ちた教育 中高一貫教育

湧別地区

中高一貫教育推進委員会

令和6年11月15日発行

だより

No. 84

## 中高一貫教育合同講演会 レバンガ北海道

大変遅くなりましたが7月に行われた、ゆうべつ地区中高一貫教育「合同講演会」の報告です。

現在も活躍されている、湧別町出身の関野選手、レバンガ北海道社長の折茂様を招き、有意義な講演会となりました。それぞれの感想を掲載いたします。

### 折茂 武彦 氏



1970年埼玉県生まれ。LEAGUE (B1) レバンガ北海道の代表取締役社長。1993年にトヨタ自動車(現アルパルク東京)でキャリアをスタートし、2007年にシラカムイ北海道へ移籍、その後経営難によりチーム消滅。2011年にレバンガ北海道を創設し、選手兼代表を務める。2019-20シーズンで選手を引退した。

### 関野 剛平 選手



1994年湧別町生まれ。湧別中から東海大四高校へ進学。その後東海大学に進む。2017年2月、レバンガ北海道に特別指定選手登録。卒業後、レバンガ北海道に正式入団。高い運動能力と筋力を生かした、極めて高いディフェンス能力を持つ。相手のガードやフォワードのエース格とマッチアップし、執拗なマークで苦しめる。そのルックスから女性人気が高い選手。



湧別高校 3年 氏名 植村 美裕

講師の折茂さんがバスケットボールのプロ選手だったので、バスケに関するたくさん話すのかと思っていたら、どんな人にもあてはまるような、今後の自分の生き方を変えてくれるようなメッセージを伝えてくれて、自分はまだまだ甘えているんだなと思います、これからもっと頑張ろうと思えました。

小さな学校で弱かったからといって上の世界を目指せないことは絶対はないということを知ることができました。私自身、トランペットの演奏家を目指していますが、正直、田舎でのんびりやっている私になれるのかなと、この講演会を聞くまで不安しかありませんでした。ですが、お話を聞いて自分にも可能性はあるのだなと確信しました。

自分の可能性を信じてこれからも頑張っていこうと思える講演会でした！



上湧別中学校 3年 氏名 三品 萌桃

私は今回の講演会を聴いて、たくさんのことを学ぶとともに、今までの考えを改めることができました。私はバスケットボール部に所属していたので、折茂さんや関野選手の言葉がとても心に響きました。現役選手である関野選手の言葉は特に、同じバスケットボールというスポーツに携わっている共通点があったので、トレーニングや技術、考え方などに共感できました。また子ども時代の話もとても貴重なものでした。このお話で部活に対する気持ちがより強いものになり、さらに熱を注ぐことができましたと思います。折茂さんのお話では、バスケットボールに限らず、生活していく上で色々なことに対しての考え方や行動の仕方について大きなヒントを貰った気がしました。挫折・失敗・敗北が最も成長させてくれる言葉であること。他人が決めたことで失敗したことは言い訳になるが、自分で決めたことで失敗したら成長できる、といった言葉は特に印象に残っています。私は今までの考え方が大きく変わったような気がしました。今回の講演はこれからの生活にとっても役立つものになると思います。お話を聞くことができ本当に良かったです、いい経験になりました。



ゆうべつ学園 7年 氏名 山下 愛未

今回の講演会で学んだことは、自信をもつことだということです。私はバスケットボール部に所属していますが、失敗するのが恥ずかしくて自分を出すことができない自分がありました。けれど、これからは関野選手のように自分からチームを明るくしたり盛り上げたりしていきたいです。折茂さんの話していた内容で特に印象が深かったのが、「自分を信じることで可能性が広がる」ということです。これからの練習時は、自分を信じて、失敗しても毎日毎日練習して継続して取り組むことで難しいと思われることでも信じて壁を乗り越えていきたいです。その後のバスケットボール教室では、ミニゲームをしたり、プレー1つ1つについて優しく教えてくれて緊張したけど嬉しかったです。最後にはサインをもらえたり一緒に写真を取ることもできてとても楽しい思い出となりました。関野選手・折茂さんに教えてもらったことを生かしてスタメンを勝ち取りたいと思います！今日はお忙しい中、湧別に来ていただいてありがとうございました。

芭露学園 9年 氏名 斉藤 有羽

今回のようなプロの選手やプロ選手として活躍していた方からお話を聞くのはなかなかないのでとても貴重な体験となりました。ぼくは今まで試合で緊張をとることができなかつたり、緊張をとろうと考えすぎたりして、エラーしたりいつも通りのプレーができなかつたりしていました。だから、講演会で「試合の時に緊張をほぐすにはどのようなことをすればよいのか」という質問をしました。その後、アドバイスのように試合で実践してみたら、考えすぎなかつたり緊張がほぐれたりして、自分が今までやっているプレーをすることができました。

これから高校生になっても試合に出場することがあるので、もし緊張したら無理して緊張をほぐそうと思うのではなく、このことを思い出して緊張をほぐそうと思います。とてもためになる講演会をありがとうございました。



## 中高一貫教育 部活動クリニック



湧別町一貫教育推進事業の一環である部活動クリニックが1月2日（土）に湧別高校体育館で行われました。今年度は北見市を中心に展開しているスポーツクラブ「オホーツクキッズ」の代表である金子航太氏（左写真）を招き、どのスポーツにも通じる「ジャンプトレーニング」・「フィジカルトレーニング」を中心に行われました。

生徒たちの評判も上々。きつくありながら楽しく過ごせたいです。さて、このトレーニングを各種目にぜひ生かしてほしいと思います。以下、参加して生徒たちの感想です。

### 湧別高校 ラグビー部 柿崎 彩人

11月2日に部活動クリニックで金子航太さんに講師をしていただき、身体の動かし方や、強い身体の作り方を教わりました。最初に強くなるための理論について講義していただき、身体を上手に使うことで動きが効率化されたり、使う体力も減るということを教わりました。その他にもジャンプトレーニングや動きづくりなどの身体を上手に動かす練習を教えていただき、講義前よりも自分の身体の動かし方を知ることができました。特に印象に残ったのは、生まれた時から才能なんてない、才能は後から作れるという言葉でした。自分たちの努力次第で、これから才能は作っていけると信じ、これからも頑張ります！！



### 上湧別中 バレー部 青柳 愛梨

部活動クリニックでは色々なことを学びました。特に良かったと思うことは「ジャンプしたときに足音を立てる」などの話が印象に残っています。脚力が付いて足が速くなったり、ジャンプ力が上がるからとても効果的だと思いました。私は講演された内容をこれからも大事にしようと思いました。本当にありがとうございました。

### 上湧別中 ソフトテニス部 2年 上松 拓実

今回の部活動クリニックで学んだことは大きく2つあります。1つ目は「足の使い方」です。これを学ぶことで早く打つ位置につけることがわかりました。2つ目は「上半身の使い方」です。これによりスイングスピードが速くなることがわかりました。辛かったですが、今回教えて貰ったことを活かして強くなろうと思いました。

ゆうべつ学園 バレー部 山下 未来

私は、この前の部活動クリニックで体の使い方を学びました。例えば、走る時は体を張って走ったり、バランスが崩れにくくなるには両足を左右、前後に動かし、トレーニングをしてバランスを崩れにくくしたり、体幹トレーニングでは、姿勢を保ち安定して運動ができた、ジャンプするときは床が壊れるくらいの音を出し全身を使いながらジャンプしたりする体の使い方を学びました。これからは、今回のクリニックで学んだジャンプなどの体の使い方をバレーボールでも生かせることが沢山あるので今後の練習で生かしていきたいです。



ゆうべつ学園 バasket部 野津 絢斗

先日のクリニックでは、私たちのためにいろいろなことを教えていただきありがとうございました。そのおかげで、僕は、運動ができるかどうかは100%「才能」だと思っていたことが「違う」とわかりました。体を使えない部分は、脳が体を守ろうと働くからで、動けるようになるためには身体を全体的に鍛えればよいということがわかりました。そして、走るの力の入れ方が大切という事がわかりました。教えていただいたことをこれからの練習に生かしていきたいと思えます。ありがとうございました。

芭露学園 バドミントン部 吉澤 諒祐

今回の部活動クリニックでは、足を前後左右に振るストレッチをやった後に体の重心がより安定したことがとても驚きました。運動前にするストレッチの重要性を改めて感じ、これからは、部活をする前にはきちんとストレッチをしなければいけないと思いました。講師の先生の話はとても面白く、練習もとてもためになりました。機会があればまた参加したいです。



今年度部活動クリニックは、何かの種目限定のものではなく、体の使い方やトレーニング全般に関する事など、どの種目にでも通じるものになりました。近年、部活動では基礎トレーニングが重要視されており、ただ単に体を強くすることではなく、バランスや体幹など体の内側も鍛えていくことが重要視されています。その意味では、今クリニックは非常に有意義なものになったのではないのでしょうか？これをきっかけに日々のトレーニングを積み、大きく羽ばたく選手になってほしいです！（ゆうべつ学年 教頭 豊原 隆之）

芭露学園 野球部 齊藤 有羽

講師の金子先生が紹介してくださった練習は楽しいものもありましたが、なかなかきついメニューもありました。実践している金子先生の姿や、練習を始めてたった1年で全道大会に出場した女の子の話を聞いて、「この練習を積み重ねていけば、きっと足が速くなる」と思いました。これからの部活動の中でしっかり練習を行おうと思います。



## 8 つなぎ学習

令和7年2月18日

各関係学校長 様

北海道湧別高等学校長 今 野 博 友

つなぎ学習の実施について（お願い）

このことについて、次のとおり実施いたしますので、時節柄ご多用のことと存じますが、参加対象者及び関係職員の出席についてご高配くださいますようお願いいたします。

記

1 実施日時

令和7年2月25日（火） 9:25～10:15 数学  
10:25～11:15 英語  
11:25～12:15 国語

2 実施方法等

- (1) ZOOMによる遠隔実施
- (2) ミーティングID：852 756 7202
- (3) パスコード：2CRGxV

3 参加対象者

令和7年度連携型入学者選抜において本校に合格内定となった者。

4 実施内容

参加対象者へ、事前に配付したテキストについて、実施当日までに次の内容を予習しておくよう連絡してください。

- (1) 数学 P20～P25（数と式、方程式）
- (2) 英語 P16～P19（リーディング2・3）
- (3) 国語 P43～P52（現代文 論理的な文章解説、文学的な文章解説）

5 その他

- (1) 当日は9:25までに入室してください。（9:00頃から入室可能です。）
- (2) 入学後、本校においてテストを実施予定です。つなぎ学習終了後、上記「4 実施内容」で示した以外の範囲についても、各自で自習しておくよう、参加対象者へ連絡してください。
- (3) つなぎ学習終了後、参加対象者へ、以下のQRコードを読み込み、アンケート協力への呼びかけをお願いします。



お問合せ先

北海道湧別高等学校

教頭 渡部 倫也

電話 01586-2-2419

FAX 01586-4-2074

## 湧別町立上湧別中学校

【所在地】〒099-6501 紋別郡湧別町上湧別屯田市街地1の1

【電話】01586-2-2095

## 湧別町立ゆうべつ学園

【所在地】〒099-6414 紋別郡湧別町錦町223番地

【電話】01586-5-2410

## 湧別町立芭露学園

【所在地】〒093-0731 紋別郡湧別町芭露411番地

【電話】01586-6-2463

## 北海道湧別高等学校

【所在地】〒099-6328 紋別郡湧別町中湧別南町846番地の2

【電話】01586-2-2419

【ホームページ】<http://www.yuubetsu.hokkaido-c.ed.jp/>